

一唱歌ヲ授クルニハ等、バイオリン、風琴、等ヲ用ヒ音階ニヨリテ聽覺及ヒ發音ノ練習ヲ爲シ漸次譜表ニ依リテ簡易ナル單音唱歌ヨリ複音唱歌ニ及ホスヘシ歌詞ハ趣味正雅ニシテ修身ニ裨益アル者ヲ撰フヲ要ス之ヲ課スルノ時間ハ一度大凡三十分内外ヲ善トス

教授ノ程度

高等科

第一年

每週二時

單音唱歌ヲ授ク

第二年

每週二時

前年程ノ續

第三年

每週二時

複音唱歌ヲ授ク

第四年

每週二時

前年程ノ續

体操

教授ノ大要

一体操ヲ教フルノ要ハ身体ノ發育ヲ助ケ健康ヲ進メ精神ヲ快活ナラシメ兼テ規則ニ服従スルノ習慣ヲ養成スルニ在リ

一体操ハニ輕体操ヲ用ヒ遊戯ヨリ之ヲ始メ漸次美容術及徒手運動ヲ課シ稍々之ニ熟スルコ及ヒテハ啞鈴球竿棍棒等ヲ用ヒ器械運動ヲ爲サシメ男子ニハ特ニ隊列運動ヲ課スヘシ且ツ遊戯ヲ爲サシムルニ當リテハ簡易ノ唱歌ヲ用ヒテ其舉動ヲ節スルヲ善トス演習ノ爲メニハ豫テ適當ノ場所ヲ設ケ一度二十分乃至三十分トシテ成ルヘシ毎日之ヲ課スヘシ

教授ノ程度

尋常科

第一年

每週六時

遊戯ヲ爲サシム

第二年

毎週六時

輕体操ヲ爲サシム

第三年

毎週六時

前年程ノ續

第四年

毎週六時

輕体操ヲ爲サシム男子ニハ兼テ隊列運動ヲ爲サシム

高等科

第一年

毎週三時

尋常科第四年程ノ續

第二年

毎週三時

前年程ノ續

第三年

毎週三時

前年程ノ續

第四年

毎週三時

前年程ノ續

裁縫

教授ノ大要

一裁縫ヲ欲フルノ要ハ女子ヲシテ通常衣服ノ調製方ヲ習熟セシメ以テ居家必須ノ知識ヲ得セシムルニ在リ

一裁縫ヲ授クルニハ先ツ專ラ手指ノ修練ヲ主トシ運針ノ方法ニ熟セシメ小裁衣服ヨリ漸次中裁本裁ノ衣服ニ至リ襟袖單物袷綿入帶等通常衣服ノ解方縫方裁方及ヒ補綴方ヲ授ク之ヲ授クルノ方ハ品種ノ異ナルニ從ヒ始メハ難方ヲ製セシメ後ニ實物ヲ以テ練習セシムヘシ

教授ノ程度

高等科

第一年 每週五時

運針法及ヒ木綿類ノ通常衣服ヲ授ク

第二年 每週五時

木綿類ノ通常衣服ヲ授ク

第三年 每週五時

木綿類及ヒ絹布類ノ通常衣服ヲ授ク

第四年

絹布類ノ通常衣服ヲ授ク

尋常小學科高等小學科學科ノ増設及ヒ時間

一尋常科ニ於テ圖畫ヲ加フルトキハ各年每週一時トシ習字科ヨリ一時ヲ取リテ之

ニ充テ專ラ自在畫ヲ授テ兼テ工夫畫ヲ交フヘシ

一尋常科ニ於テ唱歌ヲ加フルトキハ各年每週一時トシ体操科ヨリ一時ヲ取リテ之

ニ充テ專ラ單音唱歌ヲ練習セシムヘシ

一尋常科ニ於テ圖畫唱歌ノ二科ヲ加フルトキハ各科各年每週一時トシ前二項ニ充テリテ時間ヲ設クヘシ

一高等科ニ於テハ女子ノ爲メニ裁縫ヲ設ク之ヲ授ケルノ時間ハ各年每週五時トシ体操科ヨリ二時作文習字ノ二科ヨリ各一時ヲ取リ圖畫或ハ讀書科ヨリ一時ヲ取リテ之ニ充ツヘシ

一高等科ニ於テ英語ヲ加フルトキハ男子ニ限リ之ヲ課シ各年每週六時トシ習字科ヨリ二時体操唱歌作文讀書ノ四科ヨリ各一時ヲ取リテ之ニ充テ綴字讀方譯讀習字書取會話及ヒ作文ノ初步ヲ授クヘシ

一高等科ニ於テ英語農業手工商業ノ中農業手工商業ノ一科ヲ加フルトキハ男子ニ限リ之ヲ課シ各年每週三時トシ体操習字作文ノ三科ヨリ各一時ヲ取リテ之ニ充ツヘシ農業手工商業中二科ヲ加フルトキハ各科各年每週二時トシ体操唱歌習字作文ノ四科ヨリ各一時ヲ取リテ之ニ充ツヘシ或ハ英語商業ノ二科ヲ加フルトキ

ハ英語ハ各年每週五時トシ商業ハ各年每週二時トシ習字科ヨリ二時体操場遊園
 讀作文讀書ノ五科ヨリ各一時ヲ取リテ之ヲ充ツヘシ
 一高等科ニ於テ以上諸學科ヲ加フルカ爲習字科ノ時間ヲ減スルトキハ適宜淨書ノ
 度數ヲ定ムヘシ
 一農業ヲ加ヘタルトキハ禾穀蔬菜等ノ耕種收穫果木牧草ノ栽培家畜ノ飼養等ヲ授
 ケ且ツ土壤ノ性質農具ノ名稱用法及ヒ肥料ニ關スル事項ヲ説示シ養蠶製茶等特
 ニ其地方ニ於テ最モ必要ナル事柄ヲモ授クルヲ要シ實習ノ用ニ供スル爲メ相當
 ノ土地ヲ備フヘシ
 一手工ヲ加フルトキハ先ツ手指ノ練習ヲ主トシ厚紙細工麥藁細工等ヨリ之ヲ始メ
 專ラ實地ニ就キテ木工具ノ種類使用法ノ要畧ヲ教ヘ後來工藝ニ就クノ基ヲ開ク
 ヘシ
 一商業ヲ加フルトキハ簿記ノ程度ヲ増シ單記式ニ加フルニ複記式ヲ以テシ且ツ資
 易保險銀行手形貨幣郵便電信運送等商家ニ必要ノ事項ヲ授クヘシ

一以上學科ノ増設及ヒ女子ノ爲裁縫ヲ設クルコトヨリ各年諸學科每週ノ教授時間ニ
 差異ヲ生スルコト左表ノ如シ

學科	尋常科ニ於テ							
	修身	讀書	作文	習字	算術	圖畫	体操	通計
學年第一	一三〇	六	三	四	六	一	六	二七、三〇
學年第二	一三〇	六	三	四	六	一	六	二七、三〇
學年第三	一三〇	六	三	四	六	一	六	二七、三〇
學年第四	一三〇	六	三	四	六	一	六	二七、三〇

學 專

高等科		女子科		爲裁縫		ヲ設ケ		ノ時間如下		ノ時間如下		ノ時間如下		ノ時間如下	
學年	第	身	書	文	字	算	術	圖	畫	唱	歌	體	操	通	計
第一	年	一、三〇	四	三	六	一	一	一	一	一	一	五	三	二七、三〇	三
第二	年	一、三〇	四	三	六	一	一	一	一	一	一	五	三	二七、三〇	三
第三	年	一、三〇	四	三	六	一	一	一	一	一	一	五	三	二七、三〇	三
第四	年	一、三〇	四	三	六	一	一	一	一	一	一	五	三	二七、三〇	三

三百三十一

尋常科

尋常科		女子科		爲裁縫		ヲ設ケ		ノ時間如下		ノ時間如下		ノ時間如下		ノ時間如下	
學年	第	身	書	文	字	算	術	圖	畫	唱	歌	體	操	通	計
第一	年	一、三〇	四	三	六	一	一	一	一	一	一	五	三	二七、三〇	三
第二	年	一、三〇	四	三	六	一	一	一	一	一	一	五	三	二七、三〇	三
第三	年	一、三〇	四	三	六	一	一	一	一	一	一	五	三	二七、三〇	三
第四	年	一、三〇	四	三	六	一	一	一	一	一	一	五	三	二七、三〇	三

三百三十一

ニ於テ
英語ヲ
加ヘテ
ノルキ
下ノ時
間ヲ
シ
如

通計	裁縫	体操	唱歌	圖畫	理科	歴史	地理	英語	算術	習字	作文
三〇三〇	五	二	一	二	二	二	二	六	六	一	二
三〇三〇	五	二	一	二	二	二	二	六	六	一	二
三〇三〇	五	二	一	二	二	二	二	六	六	一	二
三〇三〇	五	二	一	二	二	二	二	六	六	一	二

リ男女
教授ノ
時ニ
差ヲ
生ラセ
コト
ノ
如シ

高等科

通計	裁縫 女	体操 女男	唱歌	圖畫 女男	理科	歴史	地理	算術	學科	
									年	第
三〇三〇	五女	一三女男	二	一二女男	二	二	二	六	一	年第一
三〇三〇	五女	一三女男	二	一二女男	二	二	二	六	一	年第二
三〇三〇	五女	一三女男	二	一二女男	二	二	二	六	一	年第三
三〇三〇	五女	一三女男	二	一二女男	二	二	二	六	一	年第四

學
事

高等科 於工業 商業手 業二 ノ工業 ノ商業 科中加 ヘタテ トキル ノ時間 如下											學 科 年 第	修 身	體 操	裁 縫	通 計
埋 科	歷 史	地 理	算 術	習 字	作 文	讀 書	學 年 第	一	二	三					
二	二	二	六	二	二	四	一三〇	一	二	三	四	一三〇	五	二	
二	二	二	六	二	二	四	一三〇	二	二	三	四	一三〇	五	二	
二	二	二	六	二	二	四	一三〇	三	二	三	四	一三〇	五	二	
一	二	一	六	一	二	四	一三〇	四	二	三	四	一三〇	五	二	

高等科
於工業
商業手
業一
ノ工業
ノ商業
科中加
ヘタテ
トキル
ノ時間
如下

高等科 於工業 商業手 業一 ノ工業 ノ商業 科中加 ヘタテ トキル ノ時間 如下											學 科 年 第	修 身	體 操	裁 縫	通 計
唱 歌	圖 書	農 業	理 科	歷 史	地 理	算 術	習 字	作 文	讀 書	學 年 第					
二	二	三	二	二	二	六	二	二	四	一三〇	一	二	三	四	
二	二	三	二	二	二	六	二	二	四	一三〇	二	二	三	四	
二	二	三	二	二	二	六	二	二	四	一三〇	三	二	三	四	
二	二	三	二	二	二	六	二	二	四	一三〇	四	二	三	四	

トキノ
下ノ
時間
ノ
如ク

通計	裁縫	体操	唱歌	圖畫	商業	理科	歷史	地理	英語	算術
三〇、三〇〇	五	二	一	一	二	二	二	二	五	六
三〇、三〇〇	五	二	一	一	二	二	二	二	五	六
三〇、三〇〇	五	二	一	一	二	二	二	二	五	六
三〇、三〇〇	五	二	一	一	二	二	二	二	五	六

高等科
ニ於テ
英語商
業ノ二
科ヲ加
ヘル

習字	作文	讀書	修身	學科
一	二	三	一三〇	一年第一
一	二	三	一三〇	一年第二
一	二	三	一三〇	一年第三
一	二	三	一三〇	一年第四

通計	裁縫	体操	唱歌	圖畫	手工	農業
三〇、三〇〇	五	二	一	二	二	二
三〇、三〇〇	五	二	一	二	二	二
三〇、三〇〇	五	二	一	二	二	二
三〇、三〇〇	五	二	一	二	二	二

小學簡易科各學科教授ノ大要及ヒ程度

讀書

教授ノ大要

一讀書ヲ數フルニハ假名、假名ノ單語短句ヨリ簡易ノ漢字交リ文ニ及フヘシ且ツ此科ニ於テハ兼テ修身作法ノ要領ヲ口授シ毎週二度若クハ三度一度大凡三十分ト爲シテ之ヲ課スヘシ其他教授ニ關スル要旨ハ尋常科ニ於ケル教授ノ大要ニ同シ

教授ノ程度

第一年

每週四時

假名、假名ノ單語短句ヲ授ク教授ニ要スル方法等ハ尋常科第一年程ニ同シ

第二年

每週四時

漢字交リ文ヲ授ケ兼テ讀本中緊要ノ字句ヲ書取シシム此學年ニ至リ始メテ讀本ヲ用ニルトキハ尋常科第一年程ニ於テ用フル方法ニ依ルヘシ

第三年

每週四時

前年程ノ續

作文

教授ノ大要

一作文ヲ教フルニハ假名ノ單語短句ヨリ口上書類請取送り狀簡易ノ私用文簡易ノ屆書願書類簡易ノ諸証文ニ及フヘシ其他教授ニ關スル要旨ハ尋常科ニ於ケル教授ノ大要ニ同シ

教授ノ程度

第一年

每週二時

假名ノ單語短句ヲ授ク教授ニ要スル方法等ハ尋常科第一年程ニ同シ

第二年

每週二時

口上書類請取送り狀ヲ授ク教授ニ要スル方法等ハ尋常科第二年程ニ同シ

第三年

每週二時

簡易ノ私用文簡易ノ届書願書ノ類簡易ノ諸証文ヲ授ク教授ニ要スル方法等ハ尋常科第三年程及ヒ第四年程ニ同シ

習字

教授ノ大要

一習字ヲ習フルニハ五十音數字平假名別体ノ平假名ヨリ之ヲ始メ漸次日用文字及ヒ日用書類ニヨリテ行書ヲ習ハシム其他教授ニ關スル要旨ハ尋常科ニ於ケル教授ノ大要ニ同シ

教授ノ程度

第一年

毎週二時

五十音數字平假名別体ノ平假名ヲ習ハシメ隔週一度ノ淨書ヲ爲サシム其他教授ニ要スル方法等ハ尋常科第一年程ニ同シ

第二年

毎週二時

名頭日用庶物名管内郡名近傍町村名ニヨリテ行書ヲ習ハシメ隔週一度ノ淨書ヲ爲

サシム其他教授ニ要スル方法等ハ尋常科第二年程ニ同シ

第三年

毎週二時

日用書類ニヨリテ行書ヲ習ハシメ隔週一度ノ淨書ヲ爲サシム其他教授ニ要スル方法等ハ尋常科第四年程ニ同シ

算術

教授ノ大要

一算術ヲ教フルニハ實物ノ計方ヨリ珠算ヲ用ヒテ加減乗除ヲ練習セシメ普通ノ度量衡貨幣日用適切ノ雜題ニ及ヒ兼テ速算暗算ヲ爲サシム其他教授ニ關スル要旨ハ尋常科ニ於ケル教授ノ大要ニ同シ

教授ノ程度

第一年

毎週十時

實物ノ計方數字命位加法ヲ授ケ兼テ暗算ヲ爲サシム教授ニ要スル方法等ハ尋常科第一年程ニ同シ

第二年 每週十時

減法乘法ヲ授ケ兼テ暗算ヲ爲サシム

第三年 每週十時

除法及ヒ普通ノ度量衡貨幣日用適切ノ雜題ヲ授ケ兼テ暗算ヲ爲サシム教授ニ要スル方法等ハ尋常科第三年程ニ同シ

尋常小學校高等小學校及簡易小學校學級ノ編成

一尋常小學校ニ於テ教員一人ヲ置キ單級學校トナストキハ第一學年ヨリ第四學年マテヲ以テ一學級ト爲スヘシ教員二人ヲ置キ二學級ノ學校ト爲ストキハ第一學年ヲ以テ一學級トシ第二學年ヨリ第四學年マテヲ以テ一學級トナスヲ善トス第二學年ヨリ第四學年マテノ兒童八十人ヲ超フルトキハ第一學年第二學年ヲ以テ一學級トシ第三學年第四學年ヲ以テ一學級トスルモ可ナリ又教員二人ヲ置キタル學校ニシテ兒童ノ數百二十人ヲ超フルトキハ三學級ト爲シ教員二人コトヲ之ヲ

教授シ第一學年ヲ以テ一學級トシ第二學年第三學年ヲ以テ一學級トシ第四學年ヲ以テ一學級トナスヘシ兒童ノ數若シ百六十人ヲ超フルトキハ教員三人ヲ置キ三學級ト爲スヘシ

一高等小學校ニ於テ教員二人ヲ置キ二學級ノ學校トナストキハ第一學年ヨリ第三學年マテヲ以テ一學級トシ第四學年ヲ以テ一學級トスルヲ善トス第一學年ヨリ第三學年マテノ兒童六十人ヲ超フルトキハ第一學年第二學年ヲ以テ一學級トシ第三學年第四學年ヲ以テ一學級トナスヘシ又教員三人ヲ置キ三學級ノ學校ト爲ストキハ第一學年ヲ以テ一學級トシ第二學年第三學年ヲ以テ一學級トシ第四學年ヲ以テ一學級トナスヘシ

一簡易學校ニ於テ兒童ノ數六十人以下ナルトキハ單級學校ト爲シ第一學年ヨリ第三學年マテヲ以テ一學級トシ教員一人ニテ之ヲ教授スヘシ兒童ノ數六十人ヲ超フルト雖モ八十人以上ニ達セザル場合ニ於テ教員一人ヲ置クトキハ單級學校ト爲シ第一學年ヨリ第三學年マテヲ以テ一學級トナスヘシ又兒童ノ數八十人以上

ナルトキハ二學級ト爲シ第一學年ヲ以テ一學級トシ第二學年第三學年ヲ以テ一學級トスヘシ此場合ニ於テハ教員二人ヲ置テ以テ正當トスレトモ或ハ教員一人ニテ各學級ヲ午前午後ニ分テテ教授スルモ可ナリ教員二人ヲ置キテ學校ニシテ兒童ノ數已ニ百二十人ヲ超ヘテ未タ百六十人ヲ超ヘサル場合ニ於テハ三學級ト爲シ教員二人ニテ之ヲ教授スヘシ

一前記各學科各年教授ノ程度ハ最多級編成ヲ標準トシテ之ヲ定メシモノナルヲ以テ單級若クハ二學級等ヲ以テ編成セル學校ニ於テハ始終之ニ依據スルヲ得サルノ場合ナキコアララズ故ニ教員一人ニテ二學年以上ヲ教授スル學級ヲ編成スルトキハ各年同學科ノ程度ヲ輪次交換シ一學級同一ノ程度ト爲シ教授ノ便ヲ計ルモ妨ケナシ

尋常小學校高等小學校及簡易小學校教授時間表

一此時間表ハ單級若クハ二學級ヲ以テ編成シタル學校ニテ教授スル時間割ノ一例

ナ示シタルモノナリ

一 二學年ヲ以テ一學級ト爲ストキハ授業生ヲ用ヒカルモ可ナリト雖モ三學年或ハ四學年ヲ以テ一學級ト爲ストキハ授業生ヲ用ヒテ教授ノ補助ヲ爲サシムヘシ

一 教授時間ハ每時十分時間ヲ以テ休憩時間ト爲シ五十分時間ヲ以テ就業時間ト爲ス三十分時間ノ教授時間モ之ニ準シ其就業時間ハ二十五分時間トス

單級ヲ以テ編成シタル尋常小學校ノ時間表

日	時	第一	第二	第三	第四	第五
月	四三二一	修、體	習 讀	讀 習	體 操	算 術
火	四三二一	習 讀	讀 習	作 文	體 操	算 術
水	四三二一	修、體	習 讀	讀 習	體 操	算 術
木	四三二一	習 讀	讀 習	作 文	體 操	算 術

水		火		月		日	時
丙級 (教第員一)	乙級 (教第員二)	丙級 (教第員一)	乙級 (教第員二)	丙級 (教第員一)	乙級 (教第員二)	第 一	土 甲級 乙級 讀書
丙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	丙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	第 二	甲級 乙級 算術
丙級 (教第員一)	乙級 (教第員二)	乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	丙級 (教第員一)	乙級 (教第員二)	第 三	甲級 乙級 修
乙級 (教第員二)	甲級 (教第員一)	乙級 (教第員一)	丙甲級 (教第員二)	丙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	第 四	甲級 乙級 修
丙級 (教第員一)	乙級 (教第員二)	丙級 (教第員一)	乙級 (教第員二)	乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	第 五	甲級 乙級 修
丙級 (教第員一)	乙級 (教第員二)	丙級 (教第員一)	乙級 (教第員二)	丙級 (教第員一)	乙級 (教第員二)	第 六	甲級 乙級 修

二教員二學級ヲ編成シタル尋常小學校ノ時間表

土
甲級
乙級
讀書
算術
修

甲八初段ノ學級乙ハ終段ノ學級ナリ
學科名一字ヲ記スルモノハ三十分
時間ノ課業ナリ

金		木		水		火		月		日	時
乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	第 一	土 甲級 乙級 讀書
乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	第 二	甲級 乙級 算術
乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	第 三	甲級 乙級 修
乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	第 四	甲級 乙級 修
乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	乙級 (教第員一)	甲級 (教第員二)	第 五	甲級 乙級 修

二教員二學級ヲ以テ編成シタル尋常小學校ノ時間表

土
甲級
乙級
讀書
算術
修
體操
算術

一、二、三、四ノ學年ノ符合ニシテ此
四學年ヲ以テ一學級ト爲ス
學科名一字ヲ記スルモノハ三十分
時間ノ課業ナリ

單級ヲ以テ編成シタル簡易小學校ノ時間表

日	時	第一	第二	第三	第四	第五	第六
日	時	第一	第二	第三	第四	第五	第六
月	時	算術	作文	算術	算術	算術	習字
火	時	讀	算術	算術	習字	習字	習字
土	時	算術	讀	唱、習	地理	地理	習
金	時	修、唱	算術	讀	地理	體操	習
木	時	算術	理科	圖畫	歴史	作文	習
水	時	修、唱	算術	讀書	作文	體操	習
火	時	算術	理科	圖畫	地理	作文	習
月	時	修、唱	算術	讀書	歴史	體操	習
日	時	第一	第二	第三	第四	第五	第六

甲ハ初段ノ學級乙ハ中段ノ學級丙ハ終段ノ學級ナリ
學科名一字ヲ記スルモノハ三十分時間ノ課業ナリ

甲ハ初段ノ學級乙ハ中段ノ學級丙ハ終段ノ學級ナリ
學科名一字ヲ記スルモノハ三十分時間ノ課業ナリ
二教員二學級ヲ以テ編成シタル高等小學校ノ時間表

土	金	木
丙級 讀書 (教員一)	乙級 讀書 (教員二)	丙級 讀書 (教員一)
甲級 讀書 (教員二)	丙級 算術 (教員一)	乙級 算術 (教員二)
乙級 算術 (教員二)	甲級 作文 (教員一)	丙級 作文 (教員一)
甲級 作文 (教員一)	乙級 算術 (教員二)	甲級 算術 (教員一)
丙級 算術 (教員一)	甲級 算術 (教員二)	丙級 算術 (教員一)
乙級 體操 (教員一)	丙級 體操 (教員二)	甲級 體操 (教員一)
甲級 修 (教員二)	乙級 習字 (教員一)	丙級 習字 (教員二)

日		時		火		月	
第	一	甲級	讀書	丙級	讀書	乙級	讀書
第	二	甲級	算術	乙級	算術	甲級	算術
第	三	乙級	作文	丙級	算術	甲級	讀書
第	四	甲級	算術	乙級	算術	甲級	算術
第	五			丙級	習字	丙級	算術

二教員三學級ヲ以テ編成シタル簡易小學校ノ時間表

○ 甲ハ初段ノ學級乙ハ終段ノ學級ナリ

土		金		木	
乙級	算術	乙級	讀書	乙級	算術
甲級	算術	甲級	附修身書	甲級	算術
乙級	讀書	乙級	算術	乙級	作文
甲級	算術	甲級	習字	甲級	算術

一ニ二三ハ學年ヲ示ス
 二學級ノ學校ニシテ一教員ヲ置クトキハ午前午後共ニ此時間表ヲ用フヘシ
 二教員二學級ヲ以テ編成シタル簡易小學校ノ時間表

日		時		水		火		月	
第	一	水	算術	乙級	讀書	乙級	讀書	乙級	算術
第	二	水	讀書	乙級	算術	乙級	算術	乙級	作文
第	三	水	算術	乙級	習字	乙級	算術	乙級	算術

條第八條ヲ改
其縣令ハ第
六編ニ載スヘ
シ

二十年三月三
十日滋賀縣令
第百一號ヲ以
テ第九條中ヲ
改正ス其縣令
第六百十九條
ニ出

十九年九月一
日滋賀縣令
第四十二號ヲ
以テ教科用書
ニ付附令アリ
其訓令ハ第六
百二十二條ニ
出
十九年縣令甲
第十九號ハ前
ニ出

第七條 授業時間ハ毎日三時間トス

但算術授業時間ハ授業時間總數ノ半以上タルヘシ

第八條 授業時間ノ始終左ノ如ク定ムルト雖土地ノ情況ニ因リ午後又ハ夜間ニ變
更シ或ハ一學區ニ二三ノ學校アリテ交互時間ヲ異コシ教授セントスル場合ニ於
テハ其旨豫メ縣廳ヘ開申ス可シ

春分ヨリ秋分マテ

午前第八時ニ始リ同第十一時ニ終ル

秋分ヨリ春分マテ

午前第九時ニ始リ正午第十二時ニ終ル

七月一日ヨリ同三十一日マテ

午前第七時ニ始リ

九月一日ヨリ同十五日マテ

同第十時ニ終ル

第九條 休業日ハ左ノ如ク定ムルト雖己ムテ得サル事故アリテ臨時休業セント欲
スルトキハ郡長ノ認可ヲ受クヘシ

日曜日 大祭日

祝日

産神祭日

定期試験後一週間

夏季 八月一日ヨリ

冬季 十二月廿五日ヨリ

同廿一日マテ

同十日マテ

第十條 學科程度并教科用書記當表ヲ定ムルト左ノ如シ

○ 學科課程表(二十年三月三十日滋賀縣令第百一號ヲ以テ全部
改正ニ付略ス其縣令ハ六百十九條ニ出)

教科用書記當表(二十一年五月十四日滋賀縣令第九十號ヲ以
テ全部改正ニ付略ス其縣令ハ後ニ出)

○ 明治二十一年五月十四日滋賀縣令第九十號(公報五月十四日)

明治十九年九月縣令甲第十九號小學簡易科教科第十條ノ中教科用圖書左ノ通改ム

但該圖書ハ之ヲ課スヘキ最下ノ學級ヨリ用非其他ノ學級ニハ舊來ノ圖書ヲ假用
スヘシ土地ノ狀況ニ依リ各學級一般ニ之ヲ用キントスルトキハ豫メ知事ノ認可
ヲ經ヘシ

簡易小學校教科用圖書表

圖書名	卷冊記號	出版年月	著譯編者	出版者
		檢定年月		

學事

三百五十五

三百五十四

新撰珠算書

一及ヒ二ノ加法マ

二ノ減法ヨリ三乗

三除法ヨリ四五

備考

簡易習字本ハ第一年ニ於テ假字ノ練習ヲ主トシテ成ルヘク漢字ヲ省クヘシ

第六百二十二條 小學校教科書代用ノ事

明治十九年九月一日滋賀縣訓令第四十二號(公報九月八日) (郡役所、戶長役、小學校)

二十年四月八日
滋賀縣訓令
第三十一號ヲ以
テ取消スト雖
モ參看ノタメ
編入ス其訓令
ハ後ニ出

小學校及小學簡易科ノ教科用書ハ縣令甲第十八號全第十九號ヲ以テ相定メ候處右ニ掲クル外土地ノ狀況ニ因リ他ノ書籍ニシテ實際適當ト認ムルモノハ知事ノ認可ヲ得テ當分代用スルコトヲ得ヘシ (縣令甲第十八號ハ第六百十九條ニ出、全第十九號ハ第六百二十一條ニ出)

明治二十年四月八日滋賀縣訓令第三十一號(公報四月九日)

明治十九年九月訓令第四十二號ヲ取消ス (原本宛名之レナシ恐ラケハ郡役所、戶長役場小學校ヘノ訓ハナラン)

十九年訓令第
四十二號ハ前
ニ出

第五款 教師及其他職員

第六百二十三條 尋常師範學校長職務章程

明治二十年十二月二日滋賀縣達第三百八十五號 (尋常師範學校)

(本文ハ第四十五條ニ出)

第六百二十四條 尋常師範學校職員ノ俸額

明治十九年十月十九日滋賀縣令乙第五十二號(公報十月二十日) (郡役所、戶長役場、縣立尋常師範學校、縣立病院)

本縣尋常師範學校職員ノ俸額ヲ定ムルコト左ノ如シ

尋常師範學校職員俸額

學校長年俸

學校長補月俸

教頭年俸

千貳百圓以下六百圓以上

五拾圓以下四拾圓以上

千圓以下五百圓以上

學 事

教諭月俸

七拾五圓以下三拾圓以上

助教諭月俸

三拾圓以下拾五圓以上

幹事月俸

五拾圓以下三拾圓以上

舍監月俸

三拾圓以下拾五圓以上

訓導月俸

三拾圓以下拾圓以上

書記月俸

貳拾圓以下拾圓以上

第六百二十五條

尋常師範學校職員執務服制

○明治二十一年十二月七日滋賀縣達第二百七十八號尋常師範學校

(本文八第千九
十條二出)

第六百二十六條

尋常中學校職員職制

○明治二十年四月七日滋賀縣令第百十五號

(本文八第四
十七條二出)

第六百二十七條

尋常中學校長職務章程

○明治二十年十二月二日滋賀縣達第三百八十六號尋常中學校

(本文八第四
十七條二出)

第六百二十八條

彦根中學校長職務心得中追加及消滅

○明治十九年三月二日滋賀縣丙第八十號達大上郡役所

(本文八第四
十七條二出)

第六百二十九條

商業學校職員職制

○明治二十年一月二十日滋賀縣令第三十七號

(本文八第四
十八條二出)

第六百三十條

商業學校長職務章程

○明治二十年十二月二日滋賀縣達第三百八十七號商業學校

(本文八第四
十九條二出)

第六百三十一條

公立學校職員名稱等ノ事

○明治二十年一月六日滋賀縣達第四號(公報一月八日)郡役所戶長役場尋常師範學校ヲ除ク公立學校

永式ニ非スト
雖日委看ノタ
メ編入ス

二十年三月十一日
滋賀縣達第九十七號
以テ小學校職員ニ付達アリ
其達ハ後ニ出

本年本縣達第四號ハ前ニ出

客年十一月閣令第三十五號ヲ以テ公立學校職員ノ名稱被定候ニ付テハ追テ何分ノ義相達候マテ從前ノ通心得ヘシ

○明治二十年三月十一日滋賀縣達第九十七號(公報三月十二日) (郡役所戸長役場小學校)

本年一月本縣達第四號ヲ以テ公立學校職員名稱ノ義ニ付相達候次第モ有之候處從前ノ小學校長訓導ハ總テ客年十一月閣令第三十五號ニ據リ小學校長訓導トス且且在勤及月俸共從前ノ通心得ヘシ (客年閣令第三十五號ハ後ニ出)

○明治十九年十二月廿八日閣令第三拾五號(官報十二月廿八日)

公立學校職員ノ名稱ハ尋常中學校及等位ノ之ニ準スヘキ學校ニ於テハ學校長教諭助教諭書記トシ小學校及等位ノ之ニ準スヘキ學校ニ於テハ學校長訓導トシ總テ判任ヲ以テ待遇スヘシ

第六百三十二條 小學校職員職制

○明治二十年一月二十日滋賀縣令第二十八號(公報一月二十二日)

本縣小學校職員職制左ノ通相定ム

小學校職員職制

第一條 學校長ハ校務ヲ整理シ訓導及授業生ヲ監督シ教室ノ秩序ヲ保持スルコトヲ掌ル但學校長欠員若シハ事故アルトキハ上席訓導ヲシテ其職務ヲ掌ラシム

第二條 訓導ハ學校長ノ指揮ヲ承ケ教訓ノ事ヲ掌ル

第三條 授業生ハ學校長及訓導ノ指揮ヲ承ケ訓導ノ嚴守ヲ助シ但授業生ハ之ヲ區シテ必トセス

第四條 訓導及授業生ノ員數ハ學科ノ輕重及生徒ノ員數ニ應シテ之ヲ定ム

第六百三十三條 小學校長缺員等ノ節代理方制定及廢止

○明治十九年十月二十二日滋賀縣令乙第五十四號(公報十月二十三日) (郡役所戸長役場小學校)

小學校長欠員若シハ事故アルトキハ各學區内上席ノ訓導其事務ヲ代理スヘキモノトス

○明治二十年二月九日滋賀縣達第五十九號(公報二月十二日) (郡役所戸長役場小學校)

二十二年七月
二十二年六月
令第九十六號
以テ小學校長
長職務章程ヲ
定ム其縣令ハ
第六編ニ載ス
ヘシ

二十年二月九日
滋賀縣達第九
五十九號ヲ以
テ全部廢止ス
ト雖モ參着ノ
タメ編入ス其
達ハ後ニ出
客年縣令乙第
五十四號ハ前
ニ出

客年月際令乙第五十四號ヲ廢止ス

第六百三十四條 小學校長訓導任免手續

明治十九年九月三日滋賀縣訓令第四十一號郡役所戶長役場へ

本文ハ第五百九十九條ニ出

明治十九年九月二十九日滋賀縣令乙第四十一號（公報十月二日）郡役所へ

自今小學校長訓導及準訓導ノ任免黜陟ハ郡長ヨリ申請スヘシ若其人ヲ得サル場合ニ於テハ月俸額勤務ノ場所等ヲ記シ申立ツヘシ

○明治二十二年三月二十二日滋賀縣訓令第二十四號（公報三月二十三日）郡役所戶長役場小學校へ

小學校長訓導任免手續別紙ノ如ク制定ス

但來ル四月一日ヨリ實施ス

別紙

小學校長訓導任免手續

第一條 郡長ニ於テ小學校長訓導ノ任用ヲ申請セントスル時ハ左ノ項ニ依ル可ヘ

二十二年三月二十二日滋賀縣訓令第二十四號ニ依テ消滅スト雖モ參看ノタメ編入ス其訓令ハ後ニ出

シ

小學校長任用ノ申請ハ豫メ町村長ニ商議ス可シ

小學校訓導任用ノ申請ハ小學校長ノ推薦ニ依ル可シ

小學校長ニ於テ訓導ヲ推薦セントスル時ハ豫メ町村長ニ商議ス可シ

免職轉任増俸休職等ノ申請モ前各項ノ手續ニ準ス可シ

第二條 小學校長訓導ニ缺員ヲ生ジタル時ハ三十日以内ニ其後任ヲ申請ス可シ

第三條 小學校長訓導ヲ任用又ハ増俸ヲ申請セントスル時ハ第一號書式ニ據ル可シ

シ

小學校長訓導ノ任用ヲ申請スルニ方リ相當ノ者ヲ得サル時ハ第二號書式ニ據ル可シ

可シ

小學校長訓導ノ新任ヲ申請スル時ハ第三號書式ニ據リ本人ノ履歷書ヲ添フ可シ

第四條 小學校長辭職セント欲スル時ハ郡長ヲ經テ願出ツ可シ

小學校訓導辭職セント欲スル時ハ小學校長及ヒ郡長ヲ經テ願出ツ可シ

何年何月何日	何ケ月	大屬又ハ露官被命	舊	何	藩
何年何月何日	何ケ月	廢藩又ハ廢官又ハ官制改正		何	府
、、、、、	、	轉任何府何郡何々學校長 <small>月(年)俸金何圓</small>	何	何	府
、、、、、	、	依願免校長	何	何	府
、、、、、	何ケ月	何々事務擔任又ハ何々係勤務 <small>月(年)俸金何圓</small>	何	何	府
、、、、、	、	何々申付 <small>月(年)俸金何圓</small>	何	何	府
賞	罰				
年月日	辭令又ハ事由	官廳又ハ學校(會社)	名		
何年何月何日	職務格別勉勵ニ付爲慰勞金何圓下賜ス	何	何	府	(縣)
、、、、、	何々ニ從事セシ報酬トシテ何々ヲ贈ラレ	何	何	府	(縣)
、、、、、	何々之段不束ニ付罷責ス	何	何	府	(縣)

二十二年二月
十九日滋賀縣
令第九十五號
以テ付戸長ハ
施ニ付戸長ハ
町村長ニ改メ
ル其縣令ハ第
三十七條ニ出
二十年一月二
十日滋賀縣令
第三十五號小
學校授業生免
許規則ニ依テ
但令八第百六
四十二條ニ出

右之通候也

年月日

右

何 某

- 一 履歷書ハ美濃紙ニ楷書ニテ認ムヘシ
- 一 本書式中△印ハ朱書スヘシ

第六百三十五條 小學校授業生進退手續并辭令書書式

○明治十九年四月六日滋賀縣乙第四十一號達(四月十日發布) 郡役所戸長役職 小學校職員ハ

小學校授業生ハ戸長ノ申請ニ因リ郡長之ヲ進退シ別紙書式ノ辭令書ヲ下付スヘシ
但自今採用ノ節ハ校長若シハ首座教員ニ於テ其學力ヲ試験シ該成績表ヲ申請書
ニ添付スヘシ

(別紙)

辭令書式

用紙大率
書四ツ切

増給辭令書式

用紙中率
書四ツ切

姓名

何學校授業生
姓名

何那何學校授業生申付候事

但月俸金何圓給與

年月日 滋賀縣 何那役所

自今月俸金何圓給與候事

年月日 滋賀縣 何那役所

解免辭令書式 用紙中奉 書四ツ切

姓名

依照何學校授業生差免候事

年月日

滋賀縣 何那役所

○明治十九年十月二十五日滋賀縣令乙第五十七號(公報十月二十七日) 郡役所戸長役 小學校 小學校授業生之義ハ文部省令第十二號小學校教員免許規則第十四條ニ基キ追テ小

本年縣令第三十五號ハ第六百四十二條ニ出

學校授業生免許規則相違候迄ハ總テ從前ノ手續ニヨリ任用スヘシ

○明治二十年二月二十二日滋賀縣達第七十四號(公報二月二十三日) 郡役所戸長役 小學校

現今縣下小學校授業生就職ノ者ニシテ本年縣令第三十五號小學校授業生免許規則ニ據リ免許ヲ得タルモノハ本年七月限り廢職ト心得ヘシ

第六百三十六條 師範學科卒業證書若クハ小學校教員免許狀ノ有効

期滿ノ者任用手續

○明治二十年十一月四日滋賀縣訓令第三百三號(公報十一月五日) 郡役所

本年ハ文部省令第六號ニ基キ郡長ニ於テ師範學科卒業證書若クハ小學校教員免許狀ノ有効期滿ニ至ラザル者ヲ尙教職ニ從事セシメントスルトキ或ハ有効期滿

ニ至リタル者ノ任用ヲ新ニ申請セントスルトキハ學力優等品行端正授業熟練ノ實蹟アルモノニ限リ其旨ヲ具申シ年限ヲ定メテ有効延期ノ證書ヲ請フヘシ

(考)明治二十一年四月二日滋賀縣第二部學第一八七號照會 郡役所(公報四月四日)

小學校師範學科卒業證書若クハ小學校教員免許狀有効期滿ニ至リ猶教員ノラツト欲

スル者ノ有効延期證書申請方ノ義ハ客年十一月訓令第百三號ノ次第モ有之候處其期滿日數經過ノ者ニシテ學力品行等適任ト思量シ教職ニ從事セントスル者ハ客年八月文部省令第七號ニ依リ本人ノ履歷又ハ學力ヲ檢定シテ相當ノ小學校教員假免許狀付與可相成候條其御心得ヲ以テ檢定證書差出方御取計相成度此段及御照會候也

私立學校ノ教員ハ免許狀ヲ有スル正當資格ノ教員

○明治二十年十一月八日滋賀縣令第二百十七號(公報十一月九日)

今般縣令第二百十六號ヲ以テ諸學校教員假免許規則相定メ候ニ付テハ從來設立セル私立學校(私立小學校ヲ除ク)ノ教員ハ來明治二十一年五月限リ更ニ免許狀ヲ有スル正當資格ノ教員ヲ以テ之ニ代ヘ其旨具申スヘシ若シ右期限ニ至リ正當資格ノ教員ヲ得カタクキ場合ニ於テハ一時閉校スヘシ

第六百三十八條 尋常師範學校卒業生ニアラスシテ訓導ノ職ヲ奉ズル者疾病等ニテ勤務シ難キ節休職ノ事

○明治二十一年十一月二十二日滋賀縣達第二百六十五號(公報十一月二十四日) 郡
所戶長役場
小學校へ

本縣尋常師範學校卒業生ニアラスシテ訓導ノ職ヲ奉スル者疾病其他已ムテ得サル事故ニヨリ勤務シ難キトキハ期限ヲ定メテ休職ヲ命スルコトアルヘシ但休職中俸給支給方法ハ明治二十一年十月達第二百五十一號ニ據ル

第六百三十九條 任免賞罰ニ係ル諸辭令ノ受書進達方
○明治二十一年四月二十七日滋賀縣達第百拾貳號(郡役所戶長役場
公立小學校へ)

(本文ハ第九
拾壹條ニ出)

第六百四拾條 町村立小學校職員出張巡回ノ節辭令書交付方

○明治十九年七月一日滋賀縣乙第八拾號達(七月六日發布) 郡役所戶長役場町
町村立小學校へ
町村立小學校職員一里以上ノ地ニ出張若シハ巡回ヲ要スル節ハ管轄戶長ニ商議シ
該戶長ヨリ郡長ニ申立郡長ハ辭令書ヲ交付スヘシ
但一里未滿ハ戶長ニ商議ノ上郡長ニ届出ヘシ

本年乙第八十號達ハ前ニ出

(十九年十二月二十日滋賀縣令乙第八十一號ヲ以テ校長勤務區域内ノ旅行ニ付附令アリ其縣令ハ後ニ出)

○明治十九年十二月廿日滋賀縣令乙第八十一號(公報十二月廿二日) 郡役所戸長役場小學校へ

小學校職員一里以上ノ地ニ出張若クハ巡回ヲ要スル節ハ郡長ヨリ辭令書ヲ交付スヘキ旨本年七月乙第八十號ヲ以テ相達置候處小學校長其勤務區域内ノ旅行ニ限リ別ニ辭令書ヲ交付セス小學校長ニ於テ旅行セントスルトキハ其郡度郡長ニ開申スヘシ

第六百四十一條 小學校教員學力檢定試驗細則

○明治二十年一月二十日滋賀縣令第三十四號公報(一月二十二日)

客年月文部省令第十二號小學校教員免許規則第十六條ニ基キ小學校教員學力檢定試驗細則ヲ定ムルコト左ノ如シ

小學校教員學力檢定試驗細則

第一條 本縣小學校教員志願者學力檢定試驗ハ履歷調査及身體檢査ノ上尋常師範

二十一年二月十四日滋賀縣

令第三十三號
但テ第一條
中ヲ削除シ
二條ヲ第三條
トシ以下逐條
繰下ケ更ニ第
二條ヲ追加ス
其縣令ハ後ニ

二十二年四月
ヨリ町村制實
施ニ付戸長役
場ハ町村役場
ニ改メリ戸長
ハ町村長ニ改
マル

學校學科程度ニ依リ之ヲ施行スルモノトス

但一科若クハ數科ノ試験ヲ受ケル者ト雖モ必教育學科ノ試験ヲ受クヘキモノトス

第二條 前條試験ニ及第セシモノハ更ニ二週間以内實地授業ヲ擔當セシメ合格ト認ムル者ニ有期ノ地方免許狀ヲ授與ス

第三條 試験採點ハ各學科ノ定點チ一百トシ得點六十以上ヲ以テ合格トス

第四條 學力試験ハ毎年一回檢定委員チシテ之ヲ施行セシムヘシ

但試験場及試験期日豫メ第二部ヨリ公告スヘシ

第五條 小學校教員ノ檢定ヲ受ケント欲スルモノハ左ノ書式ノ願書及履歷書ヲ製

シ戸長役場及郡役所ヲ經テ縣廳へ差出スヘシ戸長郡長ニ於テハ本人ノ品行ヲ調査シテ意見ヲ付記スヘシ

小學校教員檢定願

(用紙半紙一通)

私儀本縣小學校教員志願ニ付御檢定ノ上免許狀御授與被成下度履歷書相添此段

奉願候也

滋賀縣何郡何町(村)何番地住(寄留)

族某子弟(戸主)

年月日

氏

名印

滋賀縣知事氏名殿

前書之通願出候ニ付本人ノ品行等調査致シ候處何、、、此意見ヲ付シ進達候也

何郡何町(村)(外何ヶ町村)

年月日

戸長 氏

名印

前書之趣何、、、此段副申進達候也

年月日

何郡長 氏

名印

履歴書

(用紙美濃紙)

何府(縣)何國何郡區何町(村)何番地

華(士族)(平民)

氏 名 印

何年何月生
當何月何年何ヶ月

學 業

一 學業證書ノ寫

一 何年何月ヨリ何月マテ官(公)(私)立何學校ニ於テ教師某ニ就キ何學科修業

一 何年何月ヨリ何月マテ何所ニ於テ某ニ付キ何學科修業

職 業

一 何年何月ヨリ何府(縣)ニ於テ何職勤務何年何月辭職(廢官罷免)

賞 罰

一 何年何月何所ニ於テ何事ニ依リ賞ヲ受ケ或ハ罰ヲ受シ

右之通相違無之候也

第六條ノ學力試験ヲ受ケント欲スルモノハ手数料トシテ金壹圓ヲ願書ニ添ヘ願書
へ差出スヘシ

○明治二十一年二月十四日滋賀縣令第三十三號(公報二月十五日)

明治二十年一月縣令第三十四號小學校教員學力檢定試驗細則ノ中第一條ノ但書及第
二條ノ中前條ノ二字ヲ削除シ第一條ノ次ヘ左ノ一條ヲ加ヘ第二條トシ以下逐條採
下シ

第二條 一科若クハ數科ノ教員ヲラント欲スルモノ、爲メ尋常師範學校學科程度
ニヨリテ試驗科目ヲ定ムルコト左ノ如シ

但修身讀書作文習字地理歷史圖畫ハ各一科ノミノ檢定ヲ爲カス以上學科ノ中
讀書作文ノ二科ハ必ス之ヲ併セテ檢定ヲ爲ス且理科ノ試驗ニ及第セシモノハ

理科地理二科ノ及第トス

教員タルヘキ學科小學校
學科

檢定學科尋常師範學校
學科

修身

倫理、教育、

讀書

國語、漢文、教育、

作文

習字	習字、教育、
算術	數學、簿記、教育、
地理	地理、教育、
歷史	歷史、教育、
理科	博物、物理、化學、地理、教育、
圖畫	圖畫、教育、
唱歌	音樂、教育、
體操	體操、教育、
裁縫	家事、教育、
英語	英語、教育、
農業	農業、教育、
手工	手工、教育、

第六百四十二條 小學簡易科教員及小學校授業生免許規則

○明治二十年一月二十日滋賀縣令第三十五號(公報一月二十二日)
 客年^六月文部省令第十二號小學校教員免許規則第十四條ニ基キ小學簡易科教員及小學校授生業生免許規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

○
 小學簡易科教員免許規則

第一條 本縣小學簡易科教員ヲラント欲スル者ハ此規則ニ依リテ其學力品行身體ヲ檢定シ合格ノ者ニハ第十三條書式ノ免許狀ヲ授與スルモノトス
 第二條 學力ノ檢定ハ左ノ學科程度ニ依リテ試験スヘシ

學科	程度	用書
修身	人倫ノ大意	尋常高等小學科用書ヲ用ユ
讀書	漢字交文	全
作文	日本文、漢字交文	

算術	珠算 ^珠 加減乘除 ^算 四則雜題 ^算 加減速算 ^算 近易諸等法 ^算 筆算 ^算 加減乘除、分數、小數、比例、利息算	
習字	楷、行、草、	
地理歴史	總論、本邦地理、外國地理ノ概要及日本歴史ノ概要	
理科	通常動物(附人体)、植物、金石及物理ノ概要	
教育	德育、智育、体育及學校管理法ノ概要並授業法	教育學 ^{伊澤} 學校管理法 ^{上全} 改正教授術 ^{若林虎三郎編} 次
授業法	試験ハ設問應答ノ後更ニ實地授業ヲ擔當セシメ其應用ヲ試ムルモノトス	
圖畫	自在書及用器畫	
体操	普通体操	

第三條 試験採點ハ各科ノ定點ヲ一百分シ毎科ノ得點六十以上ヲ以テ合格トス
 第四條 本縣小學簡易科教員ニ變更ヲ生シタルトキハ免許期限內ト雖モ更ニ其要

スル所ノ學力ヲ試験スルコトアルヘシ

第五條 身体ノ檢定ハ縣立大津病院醫員ヲシテ檢査セムヘシ

第六條 小學簡易科教員ノ檢定ヲ受ケント欲スルモノハ左ノ書式ノ願書及履歷書

ヲ製シ戶長役場及郡役所ヲ經テ縣廳ヘ差出スヘシ戶長郡長ニ於テハ本人ノ品行
ヲ調査シテ意見ヲ付記スヘシ

小學簡易科教員檢定願 (用紙半紙壹通)

私儀本縣小學簡易科教員志願ニ付御檢定ノ上免許狀御授與被成下度履歷書相添
此段奉願候也

滋賀縣何郡何町(村)何番地住(寄留)

族某子第(戶主)

年月日 氏 名 印

滋賀縣知事氏名殿

前書之通願出候ニ付本人ノ品行等調査致シ候處何、、、此段意見ヲ付シ進達候
也

二十二年四月
ヨリ付村制實
施ニ付戶長役
場ハ町村役場
ニ改メリ戶長
ハ町長ニ改メ
ル

何郡何町(村)(外何ヶ町村)

年月日 戶長 氏 名 印

前書之趣何、、、此段副申進達候也

年月日 何郡長 氏 名 印

履歷書 (用紙美濃紙)

何府(縣)何國何郡(區)何町(村)何番地

華(士)族(平民)

氏 名 印

何年何月生
當何月何年何ヶ月

學業

一 學業証書ノ寫

一 何年何月ヨリ何月マテ官(公)(私)立何學校ニ於テ教師某ニ就キ何學科修業

一 何年何月ヨリ何月マテ何所ニ於テ某ニ就キ何學科修業

職業

一何年何月ヨリ何府(縣)ニ於テ何職務何年何月辭職(廢官罷免)

賞罰

一何年何月何所ニ於テ何事ニ依リ賞ヲ受ケ或ハ罰ヲ受シ
右之通相違無之候也

第七條 受験者ノ年齢ハ丁年以上トス

第八條 檢定ハ毎年一回檢定委員チシテ之ヲ施行セシムヘシ
但試験場及試験期日ハ豫メ第二部ヨリ公告スヘシ

第九條 免許狀ノ有効ハ滿三箇年トス

第十條 第一條ニ依リ授與シタル免許狀有効滿期ノ者及他府縣ノ小學校教員免許

狀ヲ有スル者ハ其經歷ニ依リ試験ヲ要セスシテ免許狀ヲ授與スルコトアルヘシ

第十一條 檢定ヲ受ケルモノ及免許狀ヲ受ケルモノ及其書換チ願フモノハ手数料

トシテ左ノ金額ヲ縣廳ニ納ムヘシ

金五拾錢

檢定手数料

金貳拾錢

免許手数料

金貳拾錢

免許狀書換手数料

第十二條 左ノ一項若シハ數項ニ觸ル、モノハ免許狀ヲ授與セス又既ニ授與スレ

ルモノト雖モ之ヲ沒收スヘシ

一新法ニ依リ輕重禁錮以上ノ刑ニ處セラレ若シハ信用又ハ風俗ヲ害スル罪ヲ犯

シテ罰金ノ刑ニ處セラレ若シハ監視ニ付セラレタルモノ

但信用又ハ風俗ヲ害スル罪ニアラサルモノヲ犯シ罰金ヲ納ムルコト能ハス

シテ輕禁錮ノ刑ヲ受ケタルモノハ此限ニアラス

一賭博犯處分規則ニ依リ懲罰ニ處セラレタルモノ

一身代限ノ處分ヲ受ケ未ダ辨償ノ義務ヲ終ヘサルモノ

一英語農業手工商業体操唱歌裁縫ニ長シタル實踐アルモノ

一舊法ニ依リ懲役若シハ禁獄若シハ鎖錮ノ刑ニ處セラレタルモノ

賭博犯處分規則
第四十七年一
月四日太政官
第一號布告ニ
シテ遊覽縣ノ
布令ニ非ス故
ニ登載セズ但
二十二年六月
七日法律第十
七號ヲ以テ廢
ス其法律ハ第

但贖罪罰金ヲ納ムルコト能ハスシテ本文ノ刑ヲ受ケタルモノハ此限ニアラズ

一前項ノ刑ニ處セラレ存留養親老小癡疾婦女等ノ故ヲ以テ收賍ヲ聽カレタルモノ

第十三條 免許狀書式左ノ如シ

免許狀

族籍	氏名
年 齡	
右ハ明治何年何月何日ヨリ明治何年何月何日マテ三ヶ年間滋賀縣管内 小學簡易科教員タルコトヲ免許ス	
明治何年何月何日	
滋賀縣印	
番號	

○ 小學校授業生免許規則

第一條 本縣小學校授業生ヲラント欲スルモノハ此規則ニ依リテ其學力品行身體ヲ檢定シ合格ノ者ニハ第十六條書式ノ免許狀ヲ其郡役所ヨリ授與スルモノトス

第二條 學力檢定ハ左ノ學科程度ニ依ル

- 一 高等小學校授業生
 - 一 高等小學科學科程度及其用書
- 一 尋常小學校及小學簡易科授業生
 - 一 尋常小學科學科程度及其用書並ニ筆算加減乗除四則雜題
 - 但小學簡易科授業生ハ筆算ヲ除ク

第三條 試驗採點ハ各科ノ定點ヲ一百トシ毎科ノ得點六十以上ヲ以テ合格トス

第四條 學力試驗ニ不合格ノモノハ六個月ヲ經ルニアラザレハ再ヒ檢定ヲ受ケルコトヲ得ス

第五條 本縣小學校教則ニ變更ヲ生シタルトキハ免許期限内ト雖モ更ニ其要スル

二十二年四月
ヨリ付村制
施ハ付村役
ニ改メリ戸長
マハ町長ニ改
ル

所ノ學科ヲ試驗スヘシ

第六條 檢定ヲ受ケント欲スルモノハ左ノ書式ノ願書及履歷書ヲ製シ戸長役場ヲ
經テ郡役所ニ差出スヘシ戸長ニ於テハ其本人ノ品行ヲ調査シテ意見ヲ付記スヘ

小學校授業生檢定願 (用紙半紙一通)

私儀何郡高等小學校(尋常小學校)(小學簡易科)授業生志願ニ付御檢定之上免許
狀御授與被成下度履歷書相添此段奉願候也

滋賀縣何郡何町(村)何番地住(寄留)

族某子弟(戸主)

年月日 氏 名 印

何郡長氏名殿

前書之通願出候ニ付本人ノ品行等調査致候處何、、、此段意見ヲ付シ進達候
也

年月日 何郡何町(村)(外何々町村)
履歷書 戸長氏 名 印

何府(縣)何郡(區)何町(村)何番地
華(士)族(平民)

氏 名 印
何年何月生
當何年何ヶ月

學業

- 一 學業證書ノ寫
- 一 何年何月ヨリ何月迄官(公)(私)立何學校ニ於テ教師某ニ就キ何學科修業
- 一 何年何月ヨリ何月マテ何所ニ於テ某ニ就キ何學科修業
- 職業
- 一 何年何月ヨリ何府縣ニ於テ何職務何年何月辭職(廢官罷免)

學事

賞罰

一何年何月何所ニ於テ何事ニ依リ賞ヲ受ケ或ハ罰ヲ受ク
右之通相違無之候也

第七條 受檢者ノ年齢ハ滿十五年以上トス

第八條 檢定ハ時期ヲ定メス郡長ノ見込ヲ以テ便宜施行スルモノトス

但檢定ヲ施行セントスルトキハ豫メ其時日ヲ縣廳ヘ報告スヘシ

第九條 免許狀ノ有効ハ滿二箇年トス

第十條 檢定委員ハ郡長之ヲ命ス

但學務課員若シハ尋常師範學校員ヲシテ臨時派出セシメ檢定ヲ監督セシムル
コトアルヘシ

第十一條 檢定ヲ施行シテトキハ其問題及採點表ヲ縣廳ヘ差出スヘシ

第十二條 左ニ掲グルモノハ履歷調査ノ上試験ヲ要セス免許狀ヲ授與スルコトアルヘシ

但本文ノ場合ニ於テハ本人ノ姓名履歷及之ヲ授與シタル事由ヲ具シ縣廳ヘ届
出ヘシ

一他郡ニ於テ小學校授業生ノ免許狀ヲ得タルモノ

一本則第一條ニ依リ授與シタル免許狀有効滿期ノモノ

一小學高等科卒業ノモノヲ尋常科小學校以下ノ授業生ニ採用スルトキ

一小學尋常科卒業ノモノヲ小學簡易科ノ授業生ニ採用スルトキ

一英語農業手工商業体操唱歌裁縫ニ長シタル實踐アルモノ

第十三條 小學簡易科教員ノ免許狀ヲ有スルモノハ高等小學校及尋常小學校ノ授
業生タルコトヲ得

第十四條 檢定ヲ受クルモノ及免許狀ヲ受クルモノ及其書換テ願フモノハ手数料
トシテ左ノ金額ヲ郡役所ヘ納ムヘシ

一金三十拾錢 檢定手数料

一金拾錢 免許狀手数料

一金拾錢

免許狀書換手数料

第十五條 左ノ一項若シハ數項ニ觸ル、モノハ免許狀ヲ授與セス又既ニ授與シテ
 ルモノト雖モ之ヲ沒收スヘシ

一新法ニ依リ輕重禁錮以上ノ刑ニ處セラレ若クハ信用又ハ風俗ヲ害スル罪ヲ犯
 シテ罰金ノ刑ニ處セラレ若クハ監視ニ付セラレタルモノ

但信用又ハ風俗ヲ害スル罪ニアラサルモノヲ犯シ罰金ヲ納ムルコト能ハス
 シテ輕禁錮ノ刑ヲ受ケタルモノハ此限ニアラス

一賭博犯處分規則ニ依リ懲罰ニ處セラレタルモノ

一身分限ノ處分ヲ受ケ未タ辨償ノ義務ヲ終ヘサルモノ

一荒凶暴激等總テ教員タルノ面目ニ關スル所行アルモノ

一舊法ニ依リ懲役若クハ禁錮若クハ鎖錮ノ刑ニ處セラレタルモノ

但贖金罰金ヲ納ムルコト能ハスシテ本分ノ刑ヲ受ケタルモノハ此限ニ非
 ス

賭博犯處分規
 則第四十七年一
 月四日太政官
 第一號布告ニ
 シテ遊蕩罪ノ
 布令ニ非ス故
 ニ登載セス但
 二十二年六月
 十日法律第十
 七號ヲ以テ廢
 止ス其法律ハ
 千八百九十九
 年八月九日

一前項ノ刑ニ處セラレ存留養親老小婦女等ノ故ヲ以テ收贖ヲ聽カントルモノ
 第十六條 免許狀書式左ノ如シ

免許狀

族籍	氏名
年 齡	
右ハ明治何年何月何日ヨリ明治何年何月何日マテ滋賀縣何郡高等小學 校(尋常小學校)(小學簡易科)授業生タルコトヲ免許ス	
明治何年何月何日	滋賀縣何郡役所印
番 號	

第六百四十三條 諸學校教員假免許規則

○明治二十年十一月八日滋賀縣令第二百十六號(公報十一月九日)

滋賀縣何郡何町村何學校設立者

滋賀縣何郡何町村何番地住(寄留)

族

年月日

氏名印

(町村立ナレハ其管理者)

前書ノ通願出候ニ付本人ノ品行等調査致候處何、、、此段意見ヲ付シ進達候也

滋賀縣何郡何町村(外何ヶ町村)

年月日

戸長氏名印

(町村立ニシテ戸長管理ナレハ前項ヲ要セス)

前書ノ趣何、、、此段副申進達候也

年月日

何郡長氏名印

(町村立ニシテ郡長管理ナレハ前項ヲ要セス)

履 歷 書

(用紙美濃紙一通)

何府縣何郡區何町村何番地

族

氏名印

何年何月生

當何月何年何ヶ月

學 業

一學業證書ノ寫

一何年何月ヨリ何年何月マテ官公私立何學校ニ於テ教師何某ニ就キ何學科修業其程度何々或ハ用書何々等

一何年何月ヨリ何年何月マテ何所ニ於テ何某ニ就キ何學科修業其程度何々或ハ用書何々等

職 業

二十一年九月
七日滋賀縣令
第三百八十八號
ヲ以テ第八條
ニ但書ヲ加フ
其縣令ハ後ニ
出

一何年何月ヨリ何府縣ニ於テ何職勤務何年何月依願免職職官罷免等

賞罰

一何年何月何所ニ於テ何事ニ依リ賞ヲ受ケ或ハ罰ヲ受ク
右ノ通相違無之候也

第六條 受檢者ノ年齢ハ丁年以上トス

第七條 檢定ハ毎年二回四月十月ニ於テ檢定委員ヲシテ之ヲ施行スルモノトス

但期日ハ其都度公告スヘシ

第八條 檢定ヲ受クルモノ免許狀ヲ受クルモノ及其書換ヲ願フモノハ手数料トシ

テ左ノ金額ヲ縣廳ヘ納ムヘシ

金壹圓 檢定手数料

金五拾錢 免許手数料

金五拾錢 免許狀書換手数料

第九條 左ノ一項若シハ數項ニ觸ル、モノハ免許狀ヲ授與セス又既ニ授與シタル

モノト雖モ之ヲ沒收スヘシ

一新法ニ依リ輕重禁錮以上ノ刑ニ處セラレ若シハ信用又ハ風俗ヲ害スル罪ヲ犯

シテ罰金ノ刑ニ處セラレ若シハ監視ニ付セラレタルモノ

但信用又ハ風俗ヲ害スル罪ニアラザレモノヲ犯シ罰金ヲ納ムルコト能ハス

シテ輕禁錮ノ刑ヲ受ケタルモノハ此限ニアラス

一賭博犯處分規則ニ依リ懲罰ニ處セラレタルモノ

一身代限處分ヲ受ケ未ク辨償ノ義務ヲ終ヘサルモノ

一荒蕪暴激等總テ教員タルノ面目ニ關スル所行アレモノ

一舊法ニ依リ懲役若シハ禁獄若シハ鎖錮ノ刑ニ處セラレタルモノ

但贖金罰金ヲ納ムルコト能ハスシテ本文ノ刑ヲ受ケタルモノハ此限ニアラ

ス

一前項ノ刑ニ處セラレ存留養親老小婦女等ノ故ヲ以テ收贖ヲ聽サレタルモノ

第十條 免許狀書式左ノ如シ

假免許狀

族籍

氏名

年 齡

右ハ滋賀縣何郡何町村何番地何某ノ設立ニ係ル何郡何町村何學校(何郡何町村立何學校)教員(何學科教員)タルコトヲ免許ス

年 月 日

滋 賀 縣 印

番號

○明治二十一年九月七日滋賀縣令第三百二十八號(公報九月八日)

客年十一月縣令第二百十六號諸學校教員假免許規則第八條ヘ左ノ但書ヲ追加ス

但本文檢定手数料ハ願書ト共ニ差出スヘシ又該手数料ハ願下ナシ若クハ試驗ニ應ゼサルトキト雖モ之ヲ還付セサルモノトス

客年縣令第二百十六號ハ前二出

第六百四十四條 小學校教員假免許狀下付願并授與方

○明治二十二年三月八日滋賀縣令第三十二號(公報三月九日)

明治二十年八月文部省令第七號ニ據リ小學校教員假免許狀ヲ得ント欲スル者ハ履歷書ヲ添ヘ本年九月十五日限リ願出可シ

小學校教員假免許狀ノ授與ハ本年九月三十日限リ停止ス

第一項ノ志願者ハ從來ノ經歷品行學力ヲ審査シ尙二週日以内本縣尋常師範學校附屬小學校ニ就キ實地授業ヲ擔當セシメ合格ト認ムル者ニ相當ノ假免許狀ヲ授與ス但經歷品行學力合格ト認メザル者ハ實地授業ヲ擔當セシメス
小學校教員假免許狀ノ有効ハ二ケ年以内トス

第六百四十五條 初等師範學科以上ノ卒業証書ヲ有シテ有効滿期後ノ者等授與生

免許狀授與ノ事

○明治二十年七月五日滋賀縣訓令第六十九號(公報七月六日)所^{屬役}ハ
初等師範學科以上ノ卒業証書ヲ有シテ有効滿期後ノ者或ハ之ト相當以上ノ學力ヲ

本年縣令第三百四十五號ハ第六百四十二條ニ

學 事

有シ品行方正身体強壯ノモノハ本年一月縣令第三十五號小學校授業生免許規則第十
二條ニ準シ試験ヲ須ヒス高等科小學校以下ノ授業生免許狀ヲ授與スルコトヲ得ヘ
シ

第六百四十六條 小學校教員免許手数料及書換手数料金額

○明治二十年一月二十日滋賀縣令第三十六號(公報一月二十二日)

客年月文部省令第十二號小學校教員免許規則第十五條ニ依リ當廳ニ納ムル所ノ小
學校教員免許手数料及其書換手数料ハ金三拾錢トス

第六百四十七條 小學校教員學力檢定手数料免許狀授與手数料納付方

○明治二十年二月十七日滋賀縣第二部會第一八九號通牒郡役所

(本文ハ第三百
五拾壹條ニ出)

○明治二十年二月二十八日滋賀縣第二部會第二四二號通牒郡役所

(本文ハ第三百
五十一條ニ出)

○明治二十二年六月十一日滋賀縣第二部廣告

(本文ハ第三百五
拾壹條ニ出)

第六百四十八條 小學校職員執務服制

○明治二十二年五月十七日滋賀縣訓令第五拾四號小學校

(本文ハ第一千九
拾壹條ニ出)

第六百四十九條 師範學校ノ卒業者ニシテ公私立學校ノ教職ニ從事スル者服務狀

況報告書式並報告期限

○明治十九年七月三日滋賀縣甲第百六號布達(七月六日發布)

師範學校ノ卒業者ニシテ管内公私立學校ノ教職ニ從事スル者ハ別紙書式ニ據リ自
今毎年一月七月ノ兩度ニ各前六ヶ月間服務ノ狀況ヲ該學校ニ報告スヘシ

但既廢ニ係ル官立師範學校ノ卒業者ハ高等師範學校ニ同府縣立師範學校ノ卒業
者ハ其學校ノ在リシ地方ノ所屬府縣立師範學校ニ報告スルモノトス

右布達ス

別紙

服務狀況報告書

任	命	何年月日(何府(縣)何學校(何郡何學校)ヨリ轉任)現職ニ昇(降)任 月俸何圓給與(増給)(減給)セラルル何年月日何職兼任何年月日何免 許狀受領何年月日何幹事何委員ヲ命セラルル何年月日職務上何々ヨ 付金何圓賞與セラルル(慰勞金何圓ヲ受領ス)
學校管理ノ狀況		
生徒授業ノ狀況		
受持生徒ノ數		
雜	項	校內諸般ノ狀況ヲ記ス

右及報告候也

年月日

滋賀縣(何郡)

元何學校卒業

何學校職名

氏名印

卒業セシ學校既廢ニ屬セルトハ茲ニ其舊校名ヲ記ス

高等師範學校校長氏名殿
何府縣

明治十九年三月十七日滋賀縣甲第四拾六號布達(三月廿日發布)

明治十五年八月本縣甲第百貳拾五號布達町村立小學校長訓導准訓導俸給額別表ノ通
改定ス

右布達ス(二十年一月十一日滋賀縣達第八號ヲ以テ改定スト雖
但參看ノルヲ編入ス但別表ハ之ヲ略ス其達ハ後ニ出)

明治二十年一月十一日滋賀縣達第八號(公報一月十二日)郡役所戶長役場尋常師範學校
本縣公立學校長以下ノ俸額ヲ定ムルコト左ノ如シ

十五年本縣甲
第百二十五號
布達ハ第五
條(下卷二百
二十五丁)ニ
出

二十一年一月三日
 縣令第二十三號
 以公立學校
 及之レニ準ス
 校長以下ノ俸
 給改定其縣令
 後ニ出

公立學校長以下月俸額

尋常中學校及之レニ準スヘキ學校

學校長	教	論助	教	論書	記
七十五圓以下	七十圓以下	三十圓以下	二十圓以下	二十圓以下	二十圓以下
四十圓以上	三十圓以上	十五圓以上	八圓以上	八圓以上	八圓以上

小學校及之レニ準スヘキ學校

學校長	訓	導	授業	生
四十圓以下	四十圓以下	四十圓以下	四十圓以下	四十圓以下
二十圓以上	二十圓以上	二十圓以上	二十圓以上	二十圓以上

○明治二十一年一月三十一日滋賀縣令第二十三號(公報二月一日)
 小學校及之レニ準スヘキ公立學校長以下ノ俸給左ノ通相定メ來ル四月一日ヨリ
 施行ス

小學校長月俸表

但本文ニ抵觸スル從前ノ達ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

高等科小學校長

尋常科小學校長

一等給	二等給	三等給	四等給	五等給	六等給	七等給	八等給	九等給	十等給	十一等給	十二等給
五拾圓	四拾五圓	四拾圓	三拾五圓	三拾圓	貳拾五圓	貳拾圓	貳拾圓	貳拾圓	拾八圓	拾六圓	拾四圓

小學校訓導月俸表

高等科小學校訓導

尋常科小學校訓導

簡易科小學校訓導

一等給	二等給	三等給	四等給	五等給	六等給	七等給	八等給	九等給	十等給	十一等給	十二等給	十三等給	十四等給	十五等給
四拾圓	三拾圓	三拾圓	貳拾圓	貳拾圓	貳拾圓	拾八圓	拾六圓	拾四圓	拾貳圓	拾圓	九圓	八圓	七圓	六圓

一科若シハ數科ノ教員免許狀ヲ有スル者ノ月俸ハ學科ノ多少又ハ其難易ニ依リ十
四等給以上ニ於テ之ヲ支給ス

簡易科小學校訓導ニシテ十等給以上ヲ受クル者ニハ其學校長ヲ兼任セシムルコト
ヲ得

小學校ニ準スヘキ公立學校長ノ月俸ハ小學校長月俸表ニ依リ一等給乃至十二等給
ノ範圍内ニ於テ之ヲ支給ス

小學校ニ準スヘキ公立學校訓導ノ月俸ハ小學校訓導月俸表ニ依リ一等給乃至十五
等給ノ範圍内ニ於テ之ヲ支給ス

授業生ノ月俸ハ五圓以下貳圓以上トス

第六百五十一條 縣立商業學校及小學校職員俸給支給方

○明治二十年一月二十四日滋賀縣達第二十一號郡役所戶長役場立
商業學校小學校へ

(本文ハ第四百
三拾六條ニ出)

第六百五十二條 小學校職員月俸旅費給與規則改定及消滅

○明治十九年三月十七日滋賀縣乙第三十四號達郡役所戶
長役場へ

(本文ハ第四百
四拾壹條ニ出)

第六百五十三條 小學校長以下旅費額表并支給方

○明治十九年六月三十日滋賀縣乙第八十二號達郡役所戶長役場
町村立小學校へ

(本文ハ第四百
四拾壹條ニ出)

明治十九年十月二十六日滋賀縣令乙第五十八號郡役所戶長役
場小學校へ

(本文ハ第四百
四十壹條ニ出)

第六百五十四條 町村立學校職員酬勞金贈與規則

○明治十九年三月九日滋賀縣乙第三十一號達(三月十三日發布)
郡役所戶長役場へ

町村立學校職員酬勞金贈與規則別紙之通相定ム

別紙

町村立學校職員酬勞金贈與規則

第一條 此規則ハ町村立學校ノ校長教諭助教諭及訓導ニ限リ適用スルモノトス

第二條 酬勞金ハ奉職ノ年數ニ依リ退職若シハ死去ノ際其在職セシ學校ノ經費ヨリ給與スルモノトス

但贈與方ノ儀ハ其學區管理者ノ名義ヲ以テスヘシ

第三條 酬勞金額ハ滿三年在勤ノ者ハ現月給一個月分ヲ給シ以上一個年ヲ加フル毎ニ現月給一個月分ノ三分ノ一ヲ加フ其一箇年ニ滿テサル端月數ハ総テ切捨テ計算スルモノトス

第四條 甲校ヨリ乙校ニ轉スル時ハ其都度打切り贈與スルモノトス

但甲乙兩校經濟ヲ同シスル場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五條 一校若シハ同一經濟ノ數校中ニ於テ校長ヨリ教諭助教諭訓導ニ又ハ教諭助教諭訓導ヨリ校長ニ轉スル時ハ前後在職ノ年數ヲ通算贈與スルモノトス

第六條 町村立學校長教諭助教諭訓導ニアラザル他官ヨリ兼務ノ學校長教諭助教諭訓導ハ五年以上勤続ノ者ニ限リ五圓以上五拾圓以下ノ酬勞金ヲ贈與スルコトアルヘシ

第七條 酬勞金ヲ贈與スルハ此規則發布ノ日ヨリ起算シテ施行スヘキモノトス

第八條 品行檢定規則ニ觸レ其職ヲ停罷シタル者及刑法ニ據リ公權ヲ剝奪若シハ停止セラレタル者ハ勿論其他不都合ノ行爲アリテ諭旨退職セシメタル者又ハ自己ノ便宜ニ依リ退職ヲ請フ者ニハ総テ酬勞金ヲ贈與セサルモノトス

第九條 學區管理者ノ見込ヲ以テ年末若クハ臨時ニ贈與スル慰勞金ハ此規則ニ據ルヘキ限ニ在ラス

第六款

生徒本編更ニ前編ノ第六款ヲ廢シ
第八款ヲ第六款トナス

第六百五十五條

郡長薦舉尋常師範學校生徒員數及方法

○明治二十年一月十七日滋賀縣令第二十九號(公報一月十九日)

明治十九年五月文部省令第十號尋常師範學校生徒募集規則第十條第十一(一)ノ旨趣

ニ依リ郡長薦舉尋常師範學校生徒員數及其方法ヲ定ムルコト左ノ如シ

郡長薦舉尋常師範學校生徒員數及方法

第一條 郡長ノ薦舉ニ係ル尋常師範學校生徒ハ尋常師範學校生徒定員二分ノ一ト

ス

第二條 郡長ノ薦舉ニ係ル尋常師範學校生徒ノ員數ハ其所轄區域毎ニ左表ニ據ル

ヘシ

郡長薦舉尋常師範學校生徒員數表

滋賀郡	六	犬上郡	六
-----	---	-----	---

栗太郡	八	坂田郡	八
野洲郡	六	東淺井郡	四
甲賀郡	六	伊香郡	六
蒲生郡	八	西淺井郡	六
高島郡	八	高島郡	六
神崎郡	八		
愛知郡	八		

第三條 郡長ノ薦舉ニ係ル尋常師範學校生徒ハ尋常師範學校生徒募集規則第一條

第一項第二項及第四項ノ資格ヲ有シ且左ニ該當スルモノヲ薦舉スヘシ

一其郡内ニ於テ教職ニ從事スル者

一年齡十七年以上二十五年以下ノ者

一其郡内在籍ノ者

第四條 尋常師範學校長ハ郡長薦舉 係ル生徒ニ調員ヲ生スル見込アルトキハ其

員數ヲ記載シ募集期限三ヶ月前其郡長ニ通牒スヘシ

第五條 郡長ハ前條ノ通牒ニ由リ募集員數ノ二倍ヲ薦舉シ其薦舉書及志願者ノ願

書履歷書等ヲ取纏メ募集期限二ヶ月前尋常師範學校長ニ送付スヘシ

募集規則ハ文部省令ニシテ
滋賀縣ノ布令
ニ非ス故ニ登載
セズ五月九日
滋賀縣令第九
百二十九號ヲ以
テ第三條ヲ改
正ス其後ニ出
ハ

二十一年十一月
六月五日
令第六百五十四
號ヲ以テ第五條
條中ノ二倍ノ

三字及第六條
ヲ削除ス其縣
令ハ後ニ出

本年縣令第二
十九號ハ前二
出

生徒募集規則
ハ十九年五月
二十八日支部
省令第十號ニ
シテ滋賀縣ノ
布令ニ非ス故
ニ登載セズ
二十年縣令第
二十九號ハ前
ニ出

第六條 尋常師範學校長ハ相當ノ試験ヲ行ヒ二倍ノ被薦學生徒中ヨリ就キ之ヲ撰拔
シ假入學ヲ許スヘシ

第七條 尋常師範學校長ニ於テ被撰學生徒總テ不適當ナリト認ムルトキハ其年ノ
薦舉ヲ止ムヘシ

第八條 二郡長ノ薦舉ニ係ル生徒ノ旅費ハ自辨スルヘシ

○明治二十年五月九日滋賀縣令第二百二十九號(公報五月十一日)

本年一縣令第二十九號中第三條ヲ左ノ通改ム

第三條 郡長ノ薦舉ニ係ル尋常師範學校生徒ハ尋常師範學校生徒募集規則第一條

第二項第二項第三項ノ資格ヲ有シ且其郡內在籍ノ者ヲ薦舉スヘシ

○明治二十一年十一月六日滋賀縣令第五百五十四號(公報十一月七日)

明治二十年一縣令第二十九號郡長薦舉尋常師範學校生徒員數及方法第五條ノ中「
募集員數」ノ次「ノ二倍」ノ三字及第六條ヲ削除ス

服務規則ハ文
部省令ニシテ
滋賀縣令ノ布
令ニ非ス故ニ
登載セズ

二十年三月七
日滋賀縣令第

第六百五十六條 尋常師範學校卒業生服務細則

明治二十年一月十七日滋賀縣令第二十八號(公報一月十九日)

明治十九年五月文部省令第十一號尋常師範學校卒業生服務規則第六條ノ旨趣ニ依リ
尋常師範學校卒業生服務細則ヲ定ムルコト左ノ如シ

尋常師範學校卒業生服務細則

第一條 尋常師範學校卒業生服務規則第二條ノ義務ヲ終リタル後同則第一條ニ據
リ更ニ教職ニ從事スヘキ五ヶ年間ハ本縣内ニ於テ本人便宜ノ學校ニ奉職スヘキ
モノトス

第二條 尋常師範學校卒業生服務規則第三條ニ依リ知事ノ指揮ヲ請フトキハ郡長
及戸長ノ証明書ヲ添ヘシ其事故疾病ナルトキハ該証明書ノ外ニ醫師ノ診斷書ヲ
添フヘシ

第三條 前條ノ手續ヲ了シ知事ノ指揮ヲ請フ者アルトキハ其事實ヲ審按シ期限ヲ

八十八號ヲ以テ第三條但書ヲ削除シ二十年十一月二十日同第百五十三號ヲ以テ第三條中追加其縣令ハ後ニ出

定メテ其就職ヲ猶豫シ若シハ其義務ヲ免スルコトアルヘシ但就職ヲ猶豫シタルモノハ滿期後尋常師範學校卒業生服務規則第一條第二條ノ義務ヲ盡サシム
第四條 尋常師範學校卒業生服務規則第四條ニ據リ届出ヘキ經歷書ハ左ノ書式ニ準シ郡長ヲ經テ差出スヘシ

經歷書

- 一何年何月滋賀縣尋常師範學校ニ於テ卒業證書ヲ受領ス
- 一何年何月何科有期地方免許狀ヲ受領ス
- 一何年何月ヨリ何年何月迄何郡何學校長(訓導)勤務
- 一何年何月何郡何學校長(訓導)ニ轉勤
- 一何年何月何處ニ付何賞(罰)ヲ受シ
- 一何年何月ニテ五ヶ年間奉職服務滿期
- 一何年何月何科有期(無期)地方免許狀(普通免許狀)ヲ受領ス
- 一何年何月ヨリ何年何月迄何郡町(村)立何學校長又ハ何々「職名ヲ記スヘシ」

二十年三月七日滋賀縣令第八十八號ヲ以テ第五條ヲ改正ス其縣令ハ後ニ出

二十年縣令第二十八號ハ前ニ出

トナル

一何々

一何年何月ニテ十ヶ年間教職服務滿期

右之通相違無之候也

滋賀縣何郡第何學區(何町村立)
何小學校(何校)校長訓導(教員)

年月日

氏 名 印

第五條 尋常師範學校卒業生服務規則第五條ニ據リ職務ヲ免スルトキハ小學校教員免許狀規則第十二條ニ據リ教員免許狀ヲ沒收スルノ外尙ホ尋常師範學校ヨリ付與シタル學業證書ヲ沒收セシムルコトアルヘシ(小學校教員免許狀規則ハ十九年六月二十布令ニ非ス故ニ登載セス)

○明治二十年三月七日滋賀縣令第八十八號(公報三月九日)

明治二十年一月縣令第二十八號尋常師範學校卒業生服務規則第三條但書ヲ削除シ第

五條ヲ左ノ如ク改ム

尋常師範學校卒業生服務規則第五條ニ據リ職務ヲ免スルトキハ小學校教員免許狀規則第十二條ニ據リ教員免許狀ヲ沒收スヘシ(尋常師範學校卒業生服務規則ハ十九年五月二十八日文部省令第十一號小學校教員免許規則ハ十九年六月二十一日文部省令第十二號ニシテ共ニ滋賀縣ノ布令ニ非ス故ニ登載セズ)

○明治二十一年十一月二日滋賀縣令第五百五十三號(公報十一月二日)

明治二十年一月縣令第二十八號尋常師範學校卒業生服務規則第三條「若シハ」ノ次ヘ

「休職シ或ハ」ノ五字ヲ加フ(二十一年十一月六日滋賀縣令第五百五十一號ニテ休職シタル者係給支給力ヲ定ム其途ハ後ニ出)

○明治二十一年十一月六日滋賀縣令第五百五十一號(公報十一月七日)(郡役所戸長役場小學校)

明治二十年一月縣令第二十八號及明治二十一年十一月縣令第五百五十三號尋常師範學校

卒業生服務規則第三條ニヨリ休職シタルモノハ俸給ヲ支給セズ但該月俸給ハ其當

日迄日割ヲ以テ支給シ復職ヲ命シタルトキモ之ニ準シ其當日ヨリ日割ヲ以テ該月

俸給ヲ支給ス

第六百五十七條 師範學校生徒在校中ノ貸費金延滞ノ者處分方等ノ事

二十年縣令第五百五十三號前出

二十年縣令第五百五十三號前出

貸費償還規則第八十四條(下卷百二十五丁)ニ出

○(考)明治二十一年九月十日滋賀縣第二部長學第五五二號照會(郡長)(公報九月十二日)
本縣師範學校生徒在校中ノ貸費金ハ卒業後貸費償還規則第四條第五條ノ規程ニ從ヒ每月規則第若クハ一時規則第ニ本人ヨリ償還可致ノ處該規程ニ從ハサルモノ多ク有之右ハ此際御督促ノ上設シ其命ニ應セサルトキハ規則第八條若クハ第七條ニ依リ處分シ延滞ニ係ル金額ハ本年度中ニ必ス完結候様御取計相成度知事ノ命ニ依リ此段及御通知候也

○
追テ自今毎月御徴收ニ係ル償還金ハ成規ノ通御取纏ノ上無滞御送納相成候様致度爲念此段申添候也

第六百五十八條 生徒兵式体操隊列運動等ノタメ多人數出向ノ節報告方制定及廢止

○(考)明治十九年十一月十五日滋賀縣令乙第六十六號(公報十一月十七日)(郡役所)
公立學校生徒兵式体操又ハ隊列運動等ノ爲メ多人數出向候節ハ該學校ヨリ其都

二十二年三月八日滋賀縣令第四百五十五號ヲ以テ廢ノト雖モ編入スルニ達ハ後ニ出

十九年縣令乙
第六十六號ハ
前ニ出

二十二年三月
八日滋賀縣達
第四十四號ヲ
以テ廢スト雖
モ參者ノタメ
編入ス其達ハ
後ニ出

十九年縣令乙
第六十七號ハ
前ニ出

度前以テ所轄警察署へ報告又ハ届出シムヘシ

(參) 明治二十二年三月八日滋賀縣達第四十五號(公報二月九日) 郡役所へ

明治十九年十一月十一日縣令乙第六十六號ヲ廢ス

(參) 明治十九年十一月十五日滋賀縣令乙第六十七號(公報十一月十七日) 縣立學

其校生徒兵式体操又ハ隊列運動等ノ爲メ多人數出向候節ハ其都度前以テ所轄警察署へ報告スヘシ

(參) 明治二十二年三月八日滋賀縣達第四十四號(公報三月九日) 縣立學

明治十九年十一月十一日縣令乙第六十七號ヲ廢ス

第六百五十九條 小學校授業料規則制定及廢止更定

(參) 明治十九年九月一日滋賀縣令甲第十七號

(本文ハ第六
百八條ニ出)

(參) 明治二十年十一月十八日滋賀縣令第二百二十五號

(本文ハ第六
百八條ニ出)

十七年本縣乙
第七十九號ハ
第三編第二
百二十二條(下
卷百二十二丁
ニ出)

第六百六十條 醫學修業ノ者取調ノ達廢止

○明治十九年九月十三日滋賀縣令乙第三十五號(公報九月十五日) 郡役所月

明治十七年十一月十一日本縣乙第七十九號達ヲ廢ス

十五年本縣甲
第二百二十五布
達ハ第二編第
二百四十二條
(下卷四十一)
ニ出

○第七款

生徒試験本編更ニ前編ノ第七款ナ分割シテ第七第八ノ兩款トナス

第六百六十一條

小學校試験法改定及消滅

○明治十九年三月十五日滋賀縣甲第四十一號布達(三月十八日發布)

明治十五年八月本縣甲第二百二十號布達小學校試験法別紙ノ通改定ス

右布達ス

別小學校試験法本法ハ二十年三月七日滋賀縣令第八十六號ヲ以テ紙、消滅ニ付略ス其縣令ハ第六百六十二條ニ出

第六百六十二條

滋賀縣小學校試験規則

○明治二十年三月七日滋賀縣令第八十六號(公報三月八日)

小學校試験規則左之通相定ム

○

滋賀縣小學校試験規則

第一條 試験ヲ分テ小試験大試験ノ二種トス

第二條 小試験ハ一學年内三回以上五回以下之ヲ行ヒ其履修セシム所ヲ試験シ成績

ニ應シテ坐次ヲ進退スルモノトス

第三條 大試験ハ一學年末一回之ヲ行ヒ其學年内ニ履修セシム課程ノ全体ヲ試験シ

成績ニ應シテ年程ノ進否ヲ定ムルモノトス

第四條 尋常科高等科第一年ヨリ第三年ノ簡易科第一年第二年ノ大試験ハ學務

擔任郡書記之ヲ監督シ尋常科高等科第四年前易科第三年ノ大試験ハ學務課員及

學務擔任郡書記之ヲ監督ス

但戸長ハ以上試験ハ勿論小試験ニモ臨席スルモノトス

第五條 各學科試験問題ノ數ヲ定ムルコト凡左ノ如シ

第一項 修身

尋常科第一年ヨリ高等科ニ通シテ小試験大試験共ニ二題乃至三題トス小試験

大試験ノ題數同一ノモノハ題意ノ難易ヲ量リ試験時間ノ長短ニ應シテ之ヲ課

スヘキモノトス以下之ニ倣ヘ

第二項 讀書

尋常科第一年ニ於テハ小試験大試験共ニ四短句乃至八短句ヲ講讀セシム同第
二年ヨリ高等科ニ通シテ小試験ニ讀本凡半葉大試験ニ凡一葉ヲ講讀セシム簡
易科ニ於テモ此例ニ據ル

第三項 作文

尋常科第一年ヨリ高等科ニ通シテ小試験大試験共ニ二題トス簡易科ニ於テモ
此例ニ據ル

第四項 習字

每週習修スルトコロノ字數ニ據リテ書セシム

第五項 算術

尋常科第一年ニ於テハ小試験ニ三題乃至四題大試験ニ四題乃至五題トシ同第
二年ヨリ高等科ニ通シテ小試験ニハ三題乃至四題大試験ニハ五題乃至六題ト
ス簡易科ニ於テモ此例ニ據ル

第六項 英語

小試験大試験共ニ綴字凡四題乃至八題讀方譯讀凡半ページ乃至一ページ習字
每週習修スルトコロノ字數會話凡二題乃至三題作文一題乃至二題トス

第七項 地理、歴史、理科、農業、商業、高等科算術ノ例ニ據ル

第八項 手工、圖畫、唱歌、体操、裁縫、小試験大試験共ニ一題乃至二題トス

第六條 小試験問題ハ擔當訓導之ヲ撰定シ校長若クハ首座訓導ノ檢閱ヲ受ケ大試
験問題ハ校長若クハ首座訓導之ヲ撰定シテ監督官ノ是認ヲ受ケルヘシ

但大試験ニ於テハ監督官ヨリ問題ヲ出スコトアルヘシ

第七條 試験ノ方法ハ口答筆答實地應答ノ三法トシ修身讀書ノ如キハ口答筆答ヲ
交用シ裁縫體操ノ如キハ實地應答ヲ用フル等學科ノ種類ニヨリテ便宜之ヲ用フ
ハシ

第八條 小試験ニ於テハ作文ハ一時三十分間其他ノ學科ハ各一時間以内ニ試了シ
大試験ニ於テハ修身習字ハ各一時間其他ノ學科ハ各二時間以内ニ試了スルモノ
トス

但修身讀書地理等ニ口答ヲ用フルトキ及英語、手工、圖書、唱歌、體操、裁縫、等
ハ此制限ヲ超フルモ妨ケナシ

第九條 各學科ノ試験ハ點數ヲ以テ之ヲ評シ一百ヲ以テ最高點トシ成績ニ應シテ
之ヲ配當ス大試験ニ於テハ監督官ノ是認ヲ受クヘシ

第十條 小試験ニ於テハ各學科ノ評點ヲ合計シ學科數ニテ通約シ其得點ヲ定ム

第十一條 大試験ニ於テハ各學科ノ評點ニ各學科小試験評點ノ通約數ヲ加ヘテニ
除シタルモノヲ其學科ノ評點トシ更ニ之ヲ合計通約シテ大試験總約點トス

第十二條 大試験ニ於テ總約點六十以上ニ達シ一學科ノ評點三十以上ニ達シタル
モノヲ以テ合格トシ進級セシムヘシ

第十三條 修身科評點ハ小試験ニ於テハ課程試験成績ノ外更ニ其試験マテノ平素
行狀點ヲ加ヘニ除シテ之カ評點トナシ大試験ニ於テハ課程試験成績ノ外更ニ一
學年間ノ平素行狀點ヲ加ヘニ除シテ之カ評點トナス
但平素行狀點ハ小試験大試験ニ至リ共ニ一百ヲ以テ最高點トシテ改算スルモ

ノトス

第十四條 小試験ニ於テハ第一表式ノ試験成績表ヲ製シ大試験ニ於テハ第二表式
ノ試験成績表ヲ製スヘシ

第十五條 尋常科高等科第一年ヨリ第三年マテ簡易科第一年第二年ノ大試験ニ於
テ合格ノ者ニハ第一號書式ノ證書ヲ與フヘシ

第十六條 尋常科高等科第四年簡易科第三年ノ大試験ニ於テ合格ノ者ニハ第二號
書式ノ證書ヲ與フヘシ

第十七條 尋常小學校ニ於テ六箇月以上ノ溫習若クハ補修ヲ受ケ退學スルモノニ
ハ第三號書式ノ證書ヲ與フヘシ

但戶長ハ證書ノ授與ニ臨席スルモノトス

第十八條 大試験ニ合格ノモノニシテ總約點九十以上ニ達スルモノハ之ヲ優等ト
シ第四號書式ノ賞狀ヲ與ヘ或ハ第五號書式ヲ添ヘテ賞品ヲ與フルコトアルヘシ

第十九條 小試験ニ於テ欠席シタルモノ次回ノ小試験前ニ出席スルトキハ特ニ試

二十二年四月
ヨリ町村制實
施ニ付戶長ハ
町村長ニ改マ
ル

年月日

縣郡學區
校名

番號ハ
年々
積ス
シ以
之ニ
下
做

年月日

縣郡學區
校名

(第三號書式)

(第四號書式)

校印

族氏籍
年名
齡名

尋常小學科六ヶ月間温習(補修)候事

年月日

縣郡學區
校名

割
番號

氏名

尋常小學科
高等小學科
小學簡易科
第何年大試驗ニ於テ
成績優等奇特ニ付實譽候事

年月日

校名

(第五號書式)

一何々

氏名

尋常小學科
高等小學科
小學簡易科
第何年大試驗ニ於テ
成績優等奇特ニ付頭書之通賞
與候事

年月日

校名

(考) 明治二十年五月三日滋賀縣第二部長學第九八號通牒^{郡長}(公報五月四日)

本年縣令第八十六號小學校試驗規則第四條ノ旨趣ニヨリ小學校大試驗ヲ監督セン
ムヘキモノハ學務擔任郡書記ニ限ルヘキモノニシテ雇吏ヲ以テ其事務ヲ代理セン
ムルヲ得サル儀ニ有之候條知事ノ命ニヨリ此旨及御通牒也

本年縣令第八十六號
出

○第八款 就學督責 本編更ニ前編ノ第七款ヲ分別シテ第七第八ノ兩款トナス
第六百六十三條 學齡兒童就學規則

○明治十九年九月一日滋賀縣令甲第二十號(公報九月八日)

勅令第十四號小學校令第四條ニ基キ學齡兒童就學規則ヲ定ムルコト左ノ如ク

○ 學齡兒童就學規則

- 第一條 凡學齡兒童就學ニ關スル事務ハ戶長之ヲ專權シ郡長之ヲ總管スルモノトス
- 第二條 凡父母後見人等ハ毎年一月中次ノ學年ニ於テ學齡ニ入ルヘキ兒童ノ學齡屆(第一號書式)ヲ戶長ニ出スヘシ
- 第三條 疾病貧乏其他止ムテ得サル事故アリテ就學セシムルコト能ハサル者ハ毎年一月中父母後見人等ヨリ其期限ヲ定メ就學猶豫願書(第二號書式)ヲ戶長ニ出スヘシ

二十二年四月
ヨリ町村制實
施ニ付戶長ハ
町村長ニ改メ
ル

二十年六月六
日滋賀縣令第
百三十九號ヲ
以テ第五條ヲ
削除ス其縣令
ハ後ニ出

但一ケ年以上ノ猶豫願書ハ郡長ニ出スヘシ

第四條 既ニ學齡屆ヲ出シ又ハ就學猶豫ヲ願ヒタル者入學時期ニ至リ止ムテ得サル事由ニ依リ入學シカクキカ若クハ就學猶豫ノ事由消滅シタルトキハ更ニ戶長ニ申出其手續ヲ爲スヘシ

第五條 家計困窮ニシテ授業料ヲ收ムルコト能ハサル者ハ戶長ニ申出其認許ヲ經テ小學簡易科ニ入ラシムヘシ

第六條 凡ソ就學猶豫ノ期限ハ積ミテ三年ヲ超ユルコト得ス若シ三年ヲ超ヘ尙就學セシメ難シト認ムル事由アル者ハ郡長其狀ヲ具シテ知事ノ指揮ヲ聽フヘシ

第七條 戶長ハ毎年一月ニ於テ學齡簿ヲ整理シ次ノ學年内ニ就學スヘキ者ノ氏名年齢等ヲ所屬小學校長ニ報告スヘシ

第八條 凡ソ學齡兒童ハ尋常小學科ニ在テハ少クモ一ケ年ノ内二十週間以上簡易小學科ニ在テハ一ケ年内十五週間以上登校セシメサルヘカラス否ヲサレ者ハ給テ不就學ト看做スヘシ

第九條 知事ハ時々官吏ヲ派出セシメ前各條ノ順序ヲ履行シタルヤ否ヤヲ檢閲セ
シムルモノトス

(第一號書式)

學齡御届

郡町(村)番地住

氏名

年月日生

右私(何男女若シハ弟妹孫甥等)ニテ本年何月滿六歳ニ相成候間此段及御届候也

郡町(村)番地住

族及職業

父母(後見人等)氏名印

年月日

何郡町(村)戸長氏名殿

(第二號書式)

就學猶豫御届

郡町(村)番地住

氏名

年月日生

右私(何男女若シハ弟妹孫甥等)ニ御坐候處疾病(貧寒若シハ已ムナリ得サル事故
疾病貧寒事故等ハ詳細其
事情ヲ記載スルヲ要ス)ニテ就學セシメ難ク候間何年月日ヨリ何年月日迄就學御
猶豫被下度此段奉願候也

郡町村番地住

族及職業

父母(後見人等)氏名印

年月日

何郡町(村)戸長氏名殿

○明治二十年六月六日滋賀縣令第三百三十九號(公報六月八日)

客年九縣令甲第二十號學齡兒童就學規則第五條ヲ削除ス

客年縣令甲第
二十號ハ前二
出

學事

○第九款 學事報告并諸表簿本編更ニ前編ノ
款目ヲ修正ス
第六百六十四條 學事年報取調條項并諸表樣式

○明治十九年一月十三日滋賀縣乙第四號達郡役所戶
長役場へ

學事年報取調條項并諸表樣式自今左ノ通相定候條曆年ノ調査ニ據リ一郡毎ニ取調
ノ翌年二月限リ可差出此旨相達候事左ノ體頭ノ通
ニ付之ヲ略ス

但明治十八年分モ本文ニ據リ取調可差出且諸表式ハ本廳學務課ヨリ送付スル

○明治十九年十二月二十日滋賀縣令乙第七十七號公報十二月二十二日郡役
所へ

學事年報取調條項并諸表樣式自今別冊ノ通相定メ曆年ノ調査ニ據リ翌年一月限差
出スヘ

別冊

學事年報取調條項

一 郡內學事ノ狀況

學事施設ノ要領及學事ノ現狀ヲ概記スヘ

十九年十二月
二十日滋賀縣
令乙第七十七
號ヲ以テ全部
更定スト雖モ
參看ノタメ編
入ス其縣令ハ
後ニ出

一 學區

區畫變更ノ理由、廣狹適否ノ狀況等ヲ記載スヘシ

一 學齡兒童就學

就學兒童増減ノ原由及就學督責ノ實施其他學齡就學ニ係ル總テノ狀況方法等

ヲ記載スヘシ

一 小學校

公私立學校設置廢止ノ理由、諸般ノ準備生徒修業ノ狀況其他父兄ノ職業ニ關

シ在學ノ長短學業進否(等級人員及男女ノ區別ヲ要ス)ノ趣ヲ異ニスル等ノ事
項ヲ記載スヘシ

一 小學校教員

教員ノ資格(卒業證書又ハ教員免許狀)ノ等科男女ノ細別ヲ要ス(待遇ノ狀況、

需用供給ノ關係等ヲ記載スヘシ

一 中學校

學 事

設置廢止ノ理由、教員ノ資格、生徒ノ増減及學業ノ進否（等級、人員、卒業生ノ數等）可及的精密ヲ要ス且生徒中ニ學齡ノ者アラハ男女別ヲ以テ其數ヲ記載スヘシ）生徒卒業後ノ狀況等ヲ記載スヘシ

一 各種學校

學校設置廢止ノ理由、教授ノ要旨、級員ノ資格、生徒ノ増減（生徒中學齡ノ者アラハ男女別ヲ以テ其數ヲ記載スヘシ）學業進否ノ狀況等ヲ記載スヘシ

一 教科用圖書

教科用圖書ノ適否、需用供給ノ關係等凡教科用圖書ニ係ル狀況ヲ記載スヘシ

一 公學資

町村立學校等經濟ノ要領、授業料徵收ノ方法、寄附金ノ増減、收支ノ方法、費金ノ豐歉、學校資財増減、學資蓄積等總テ學校維持并理財上ノ得失ニ係ル事項ヲ記載スヘシ

一 町村會

教育費ニ係ル議事ノ梗概ヲ記載スヘシ

一 教育會

組織並議事ノ梗概ヲ記載スヘシ

一 學事關係職員

學務擔任郡吏戸長等凡學務關係職員事務ヲ措辦スル總テノ狀況及方法等ヲ記載スヘシ

一 學事監督及獎勵

學務擔任郡吏巡視監督ノ狀況並教員生徒等獎勵ノ要領ヲ記載スヘシ
一 滿六年以上ノ者ニシテ自己ノ姓名ヲ記シ得ル者ト記シ得サル者トノ區別
一 將來學事施設上須要ノ件
一 其他學事ニ付申報スヘキ條件ハ便宜類聚記載スヘシ

明治年滋賀縣管内學事統計表

甲郡ノ一部ヲ以テ乙郡ノ一部ト併記スヘカラス

二十二年四月
ヨリ町村制實
施ニ付戸長ハ
町村長ニ改メ
ル

明治二十年 滋賀縣管内小學校

名	所在地	創立年	本學校	訓導		授業		生徒		一ヶ年	總數	歳	費	校長
				男	女	男	女	男	女					
合計														

歳費金額ハ曆年ノ調査ニ因ルヘシ○學校長欠員ノハ首座教員ノ氏名ヲ掲ケ符號ヲ記スヘシ○支校ハ別ニ掲ケヌ本校ヘ合シテ掲クヘシ

明治二十年十二月二十三日滋賀縣第二部學第五五三號通牒所^{郡役} (公報十二月二十四日)

客年縣令乙第七十號ハ前ニ出

明治二十年學事年報ノ義客年^{十二}月 縣令乙第七十七號ニ依リ來ル二十一年一月中御進達可相成等ニ有之候ニ付テハ從來年報御進達ノ義兎角延滞ニ及ヒ調製上差支不^少候條自今特ニ御注意ノ上日限内無延滞御差出有之度候且又年報御調製上左ノ事項御心得相成度此段申進候也

但野表ハ別段不及御回送候條便宜御調製相成度候也

- 一 高等科尋常科併置ノ學校ハ二校トシ記入可相成義ニ候
- 一 女學校ニシテ小學科六ヶ年ノ課程ヲ卒リタル以上ノ學力アルモノヲ入レ修學三ヶ年以上ノ課程ヲ以テ少シモ修身讀書算術理科家事等ヲ教フルモノハ高等女學校トシ御調記相成度候

明治二十年十二月二十三日滋賀縣第二部學第五五四號照會所^{郡役} (公報十二月二

種別	金額	積	金		學	貸	貸	總計
			貸金	預金				
公債證書株券								
貸金								
預金								
計								
田								
地								
家								
計								

但シ公債證書株券ハ額面ヲ以テ調記シ學田貸地貸家ハ時價ヲ以テ調記スヘシ
 一區町村費ノ賦課科目及賦課率
 但賦課科目ノ特ニ其學區ニ行ハルモノハ其學區數ヲ記スヘシ

後ニ載スルニ
 二十一年十二月
 二十一日滋賀
 縣第二部學第
 七〇〇號ヲ以

テ區町村費云
 ス々ノ項ヲ削除

客年學第五
 三號學第五
 四號ハ前ニ出

去月二十七日
 學第六八號
 客年學第五
 四號ハ前ニ出

一小學簡易科ノ内積金其他ノ收入金アリテ經費ノ一部ニ充ツルモノ、數及ヒ小學
 簡易科地方稅補助費配當方

（參）明治二十一年十一月二十七日滋賀縣第二部學第六六八號照會所^{郡役}（公報十一月
 二十八日）

當明治二十一年學事年報ノ儀ハ來二十二年一月中ニ御差出可相成等ニ付テハ客年
 十二月學第五五三號通牒并ニ學第五五四號照會^{共ニ公報第百四十一號ニ登錄ス}ニ依リ御取調ノ上必ス期
 限内ニ御進達相成度此段豫メ及御照會候也

（參）明治二十一年十二月二十二日滋賀縣第二部學第七〇〇號通知^{郡役}所^{郡役}（公報十二月
 二十二日）

去月二十七日付學第六六八號照會書中ニ記載有之客年學第五五四號照會書ノ件ニ
 付今般其筋ヨリ通牒ノ次第モ有之候間左ノ追加除教候條此段及御通知候也

一收入金内譯表ニ左ノ備考ヲ付ス

學 事

本表記載ノ金員ハ公學費出納表納ノ部小學校欄内ノ金員ト符合セシコトヲ要ス

○前年越高雜收入等ハ積金其他收入ノ欄ニ記載スヘシ○高等科ト尋常科ト經費

ヲ合同スルモノ、如キモ豫算科目等ニ照シ相當ノ之ヲ分割記入セシコトヲ要ス

一學資等差ノ備考ニ左ノ一項ヲ追加ス

本表記載ノ校數ハ統計表ノ數ト符合セシコトヲ要ス

一學校資産内譯表ノ備考ニ左ノ一項ヲ追加ス

積金及其利子等ハ公學費出納表及所有品表ノ同數ニ符合セシコトヲ要ス

一區町村費ノ賦課科目及賦課率ノ一項ハ削除ス

○明治十九年十二月二十日滋賀縣令乙第七十八號(公報十二月二十二日)縣立學

學事年報取調條項自今左ノ通相定ム曆年ノ調査ニ據リ翌年一月限差出スヘシ

○

學事年報取調條項

一 師範學校 附教員講習所等

教員ノ資格、生徒養成ノ狀況、學業ノ進否(等級、人員、卒業生ノ數等)可及
的精密ヲ要ス(並教員講習所ノ設置、小學督業ノ配置其他授業法ノ改良ニ係
ル方法等ヲ記載スヘシ)

一 商業學校

學校設置廢止ノ緣由、教授ノ要旨、教員ノ資格、生徒ノ増減、學業ノ進否(前
ニ全シ)其他該學藝ニ關スル教育ノ現狀ヲ觀察スルコト足ルノ條項ヲ記載ス
ヘシ

一 教科用圖書

教科用圖書ノ適否、需用供給ノ關係凡教科用圖書ニ係ル狀況ヲ記載スヘシ

一 書籍縱覽所

書籍縱覽所ノ現況其他開館日數閱覽人ノ増減等ヲ記載スヘシ

一 公學資

學校經濟ノ要領、授業料徵收ノ方法、寄附金ノ増減、收支ノ方法、費金ノ豐歉

時間	授業一日數	出席女之部		出席男之部		合計
		計	數	計	數	
日數	授業					
數生在籍						
計	女	男				
數生出席						
計	女	男				
數生出席						
計	女	男				
數平均出席						
計	女	男				

甲號第三式									
滋賀縣 郡 學區 科 小學校月末調查表									
年程	在籍生徒數		出席生徒數		平日均出席		合計	一日授業時間	一月間授業日數
	男	女	男	女	男	女			
第一年									
第二年									
第三年									
第四年									
合計									

甲號第四式

滋賀縣 郡 學區 科 小學校 年程年末調查表

順席	生徒姓名	出席日數	年齡	在學年月數
一				

明治 年 月 日 調

乙號第二式

滋賀縣 郡第 學區學齡修學調查表

件名別	學齡人員		合計	修就	合計	學卒業退學者	合計	未就學	合計	未卒業退學者	合計	編者
	女	男										
六年以上												
七年以上												
八年以上												
九年以上												
十年以上												
十一年以上												
十一年以上												
十一年以上												
十一年以上												
十一年以上												
十一年以上												
計												

乙號第三式
滋賀縣 郡第 學區町村立小學校表

明治 年 月 日 調

學事

合計	人口		合計	職業	合計	修學	合計	不修學	合計	名	除	入
	女	男										
				農						死	本年中學齡ヲ終リシ者	猶豫滿期ノ者
				農						亡		
				農						疾		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		
				農						男		
				農						女		

出納	利	餘	員	雜	品
不	足		合	計	

明治年月日調

學事表簿取調心得

甲號表簿ハ町村立小學校私立小學校ノ校長或ハ教員ノ掌ルモノナリ
乙號表簿ハ學校管理者ノ掌ルモノナリ

甲號表簿ノ部

第一式 生徒學籍簿

生徒入學ノ際姓名生年月日、入學年月日、入學時年齡、從前教育及父兄或ハ後見人姓名族籍職業住所ヲ記入スヘシ
族籍ハ何府縣華士族平民職業ハ實際執ルトコロノ主要ナル業務ニ就キ之ヲ記入スヘシ
番號ハ入學ノ順序ニ從テ記入スヘシ

學力品質ハ生徒ノ退學スル際ニ至リ之ヲ記入シ其他ノ紀事ハ必要ノ場合ニ於テ之ヲ記入スヘシ

退學年月日及退學理由ハ生徒退學ノ際之ヲ記入スヘシ

第二式 生徒出席簿

生徒姓名ハ學力ノ順序ニヨリテ記入シ曜日ノ下ニハ日月火水木金土ヲ配列シ毎日適宜ノ時間ニ於テ受持教員自ラ生徒ヲ點檢シテ出席若クハ欠席ノ符號ヲ記入スヘシ

出席數ノ欄ニ各人一月間ノ出席數ヲ合計記載スヘシ

日々出席數男ノ部女ノ部ニハ一月間毎日ノ出席數ヲ計記シ合計ニハ其男女ノ數ヲ合算記入スヘシ

一日授業時間ハ一日間定規ノ授業時間ヲ掲クヘシ

授業日數ハ一月間其校實際ノ授業日數ヲ記スヘシ以下年末ノ調査ニ至ルモ此例ニ同シ

在籍生徒數ハ其年程月末ノ在籍生徒數ヲ男女別ニテ記入スヘシ

出席生徒ハ一月間一日以上ノ出席生徒ノ數ヲ男女別ニテ記入スヘシ

生徒出席總數ハ全年程生徒一月間ノ出席總數ヲ男女別ニテ記入スヘシ

日々出席平均數ハ一月間授業日數ヲ以テ出席總數ヲ扣除シタル計數ヲ記入スヘシ

男女別ニテ前項ノ如シ

第三式 全校月末調査表

此表簿ハ各年程生徒出席簿中ノ諸數ヲ採リ記入スヘシ

第四式 年末調査表

生徒姓名ハ十二月末ノ生徒出席簿ニヨリテ記入スヘシ

出席日數ハ各生徒一年間ノ出席日數ヲ記入シ且生徒全員中ニ就テ其日數ノ最モ

多キモノ及最モ少キモノヲ採テ之ヲ出席最日數及最少日數ノ欄内ニ記入スヘシ

年齢ハ各生徒ニ就キテ之ヲ記シ且生徒全員中ニ就テ平均ノ年齢ヲ算シ之ヲ生徒

平均ノ欄内ニ記入スヘシ

在學年月數ハ各生徒ニ就テ幾年幾月ト記載シ之ヲ平均シテ在學年月平均ノ欄内

ニ記入スヘシ但各生徒在學年月數ハ其小學校ト他ノ小學校トト問ハス其生徒

就學後ノ年月數ヲ記入スヘシ

在籍生徒數出席生徒數生徒出席總數日々出席平均ノ記入法ハ出席簿ト同一ニ

テ只月末ト年末トノ別アルノミ

第五式 全校年末調査表

此表簿ハ一年間月末調査表ノ諸數ヲ月別ノ欄内ニ記入シ年末ノ欄内諸項ハ各年

程ノ年末調査表ニヨリテ合計記入スヘシ

第六式 年末統計表

此統計表ハ每年末ニ於テ以上掲ケルトコロノ諸表簿ヨリ其計數ヲ採記スヘシ其

要領ヲ左ニ掲ケ

在籍生徒ノ員數及ヒ之カ本年中出席生徒數本年中日々出席平均數ハ第五式合計

欄内ノ數ヲ採リテ記入スヘシ
 本年中入學及本年中退學ハ年末ノ在籍生徒ニ限ラス已ニ退學セシモノト雖モ本年
 年中ニ於テ入學退學ヲ爲セシモノ、數ヲ採記スヘシ
 本年中出席生徒數ハ在籍生徒ニ限ラス已ニ退學シタルモノト雖モ本年中ニ一日
 以上出席セシ生徒ノ數ヲ云フ故ニ年末在籍生徒ノ出席生徒數ニ本年中退學生徒
 ノ中ニテ一日以上出席セシ生徒ノ數ヲ加ヘテ記入スヘシ
 本年中一ヶ月日々出席平均最多數及本年中一ヶ月日々出席平均最少數ハ第五式
 各月未統計ノ中ニ就キ日々出席平均數ノ最多數ト最少數トヲ採記スヘシ
 本年中日々出席平均數ハ第五式各月末統計ノ中ニテ日々出席平均數ヲ合計シ十
 ニニテ扣除シタルモノヲ採記スヘシ
 教場書籍標品器械數學級ノ數教員授業生ノ數ハ其年末ノ現數ヲ計記スヘシ但書
 籍ノ數ハ券冊全備ノモノヲ何部ト記シ欠本ノモノヲ何冊ト記スヘシ又標品ハ何
 種ト記スヘシ機械ノ中教科器具トハ机塗板教場用腰掛地球儀物理化學器械ノ類

ヲ云ヒ校具トハ土瓶茶碗火鉢椅子生徒扣席用腰掛ノ類ヲ云フ
 學級ノ數第一第二等ノ欄ニハ第一學級ハ第何學年ト何學年第二學級ハ第何學年
 等ノ如ク記入スヘシ
 校長欄内ノ空白ニハ教員免許狀ヲ有スルモノハ其資格ヲ記入スヘシ
 卒業生徒欄内ニハ其年中ニ卒業セシ生徒ノ數ヲ記入スヘシ年中授業日數ハ第五
 式ノ授業日數ヲ記入スヘシ
 第一式ヨリ第五式マテ各一通ヲ製シテ學校ニ備置キ第六式ハ二通ヲ製シテ一通
 ヲ管理者ニ出シ一通ヲ學校ニ備置クヘシ
 乙號表簿ノ部
 第一式 學齡簿
 學齡兒童ノ姓名ヲ記入スルニ寄留ノ者ハ其姓名ノ肩ニ寄ノ字ヲ記入スヘシ
 兒童ノ生日ヨリ起算シテ六年ニ至ルヲ學齡ニ入ルノ年月日トシ再ヒ起算シテ十
 四年ニ至ルヲ學齡ヲ終ルノ年月日トシ學齡ノ欄ニハ自何年何月何日ト記入スヘシ
 至何年何月何日ト記入スヘシ

就學不就學齡別ノ欄内ニハ兒童入學ノ年月日ヲ記入シ不就學ノ者ハ疾病、癩疾、家計困窮等ノ如キ己ムヲ得サル事故ヲ詳記シ既ニ尋常科若クハ簡易科ヲ卒ヘタル學齡兒童ニシテ就學スルコト能ハサル者ハ尋常科若クハ簡易科卒業ト記シ且ツ他ノ學科ヲ修メ其他疾病等ノ事故又ハ職業ニ就ク等ノ如キ理由ヲ詳記スヘシ他學區ノ小學校ヘ通學スルモノハ齡別欄内ニ之ヲ記別スヘシ

兒童ノ轉住スルキハ何地ヘ轉籍或ハ寄留ト記シ以テ其府縣郡區町村ヲ區別スヘシ若死亡スルキハ其年月日ヲ記スヘシ又他ヨリ轉籍寄留スル者モ此ニ同シ

父兄或ハ後見人ノ姓名欄内ニハ其學齡兒童ヲシテ普通教育得セシムルノ義務アルモノ、姓名ヲ記入スヘシ其住所ノ欄ニハ何郡何町村何番屋敷居住若クハ寄留ト記入スヘシ

第二式 學齡修學調查表

諸數中其全年ニ涉ルモノハ一曆年ニ據リ現在數ニ係ルモノハ其年十二月末ノ數ニ據リ調査スヘシ即學齡人員ハ學齡簿ニ就キ十二月末ノ現員ヲ計算シテ之ヲ記

入スヘク人口ハ學區内十二月末ノ現員ヲ記入スヘク就學ハ年末現員ハ勿論退學者ト雖モ其年中就學セシ者ハ總テ之ヲ算入スヘシ

卒業退學者ノ欄ニハ高等科尋常科簡易科ヲ卒リテ其年中就學セサル者ヲ算入シ未卒業退學者ノ欄ニハ尋常科簡易科ヲ卒ヘスシテ其年中就學セサル者ヲ算入スヘシ

編入除名ハ其年中學齡兒童ノ出入ヲ計リテ各欄ニ分記スヘシ

最後修學不修學欄内ノ職業類別ハ學齡兒童ヲシテ普通教育ヲ得セシムルノ義務アルモノ、職業ニ係ル

第三式 町村立小學校長

此表簿ハ其學區内諸學校ヨリ出ス所ノ甲號第六式年末統計表ニ就キ各學校ヲ別チテ記入スヘシ

第四式 町村立小學校公學費出納所有品及學資寄附表

此表簿ハ學校ノ資産及經費ニ關スル諸帳簿ニ就キテ調査記入スルモノナリ但資

産收益金トハ學田學山林ノ類ヨリ收入スル利益ヲ云フ此欄ニハ右ノ收入ヲ金員ニ改算シテ記入シ學校資産價額ノ欄ニハ學校所有ノ田畑山林其他ノ物件等ノ價額ヲ記スヘシ

學校附屬地トハ學校敷地外ニ於テ教授ノ爲メ使用スル地所ヲ云フ

書籍ノ數ヲ記スルノ法ハ甲號第六式ノ例ニ同シ

第一式ハ一通ヲ製シテ管理者之ヲ備置キ第二式ヨリ第四式マテハ各二通ヲ製シ其一通ハ毎年一月中必ス之ヲ郡長ニ出シ其一通ハ管理者ニ於テ備置クヘシ

○第十章 衛生

○第壹款 病院 附リ 盲啞院等

第六百六十七條 大津病院改稱

○明治十九年三月廿九日滋賀縣告示第四拾六號告示(三月三十日發布)

本縣公立大津病院來ル四月一日ヨリ縣立大津病院ト稱ス

右告示ス

第六百六十八條 縣立大津病院出張所并回診所改設及廢止

(參) 明治十九年五月十日滋賀縣告示第六拾八號告示(五月十二日發布)

客年七月、告示第八拾壹號ヲ以テ大津病院出張診察所設置ノ儀及告示置候所來ル六月ヨリ更ニ左ノ通縣立大津病院出張所及回診所ヲ改設ス

但出張所及回診所ニ就キ診療ヲ受クルノ手續及院長巡回ノ日割等ハ追テ衛生課ヨリ報告スヘシ

縣立大津病院出張所位置

客年告示第八十一號ハ第四編第一卷三十三條(下卷四十六丁)ニ出

二十二年三月二十二日滋賀縣告示第十五號ヲ以テ出張所同診所ヲ廢止ス

所同診所ヲ廢止ス

ス其告示ハ後ニ出

十九年十二月
二十三日滋賀
縣告示第百八
十五號ヲ以テ
長濱出張所ヲ
移轉ス其告示
ハ後ニ出

十九年九月十
日滋賀縣告示
第百二十二號
ヲ以テ彦根回
診所ヲ一番町
へ移ス二十年
三月三十日同
告示第五十二
號ヲ以テ守山
回診所ヲ廢ス
同日八月十九
日同告示第九
號ヲ以テ彦根
回診所ヲ廢ス
其告示ハ後ニ
出
本年告示第六
十號ハ前ニ出

本年告示第六
十號ハ前ニ出

客年告示第六
十號ハ前ニ出

客年告示第六
十號ハ前ニ出

- 全
回診所位置
- 甲賀郡深川市場村
 - 蒲生郡日野大窪町
 - 坂田郡長濱錦町
 - 高島郡安井川村
 - 野洲郡守山村
 - 愛知郡愛知川村
 - 犬上郡彦根四番町
 - 伊香郡木ノ本村
 - 高島郡今津村

右告示ス

明治十九年九月十日滋賀縣告示第百二十二號(公報九月十五日)

本年九月告示第六十八號ヲ以テ縣立大津病院出張所及回診所改設ノ旨及告示候處今般

犬上郡彦根回診所ヲ全地一番町へ移ス(二十二年三月二十二日滋賀縣告示第十五號ヲ以テ出張
所回診所ヲ廢スト雖モ參看ノタメ編入ス其告示ハ後ニ出)

明治十九年十二月二十三日滋賀縣告示第百八十五號(公報十二月二十五日)

本年告示第六十八號ヲ以テ及告示候縣立大津病院長濱出張所ヲ全地西本町へ移ス
(二十二年三月二十二日滋賀縣告示第十五號ヲ以テ出張所
回診所ヲ廢スト雖モ參看ノタメ編入ス其告示ハ後ニ出)

明治二十年三月三十日滋賀縣告示第五十二號公報(三月三十一日)

客年告示第六十八號ヲ以テ告示ニ及ヒタル縣立大津病院守山回診所ヲ廢ス(二十二年
二月二十二日滋賀縣告示第十五號ヲ以テ出張所回診所ヲ
廢スト雖モ參看ノタメ編入ス其告示ハ後ニ出)

明治二十年八月十九日滋賀縣告示第八十九號(公報八月二十日)

客年告示第六十八號ヲ以テ告示ニ及ヒタル縣立大津病院彦根回診所ヲ廢ス(廿二
年三月二十二日滋賀縣告示第十五號ヲ以テ出張所回診所
ヲ廢スト雖モ參看ノタメ編入ス其告示ハ後ニ出)

明治二十二年三月二十二日滋賀縣告示第拾五號(公報三月二十三日)

縣立大津病院各出張所及回診所來ル三十一日限り相廢ス

第六百六十九條 滋賀縣立大津病院職制及事務章程ヲ廢シ更ニ同職制ヲ定ム

○明治十九年六月三日滋賀縣令第七十八號達(課警部役所學校へ)

(本文ハ第五十條ニ出)

○明治二十二年四月九日滋賀縣達第九十三號(郡役所町村役場縣立學校へ)

(本文ハ第五十條ニ出)

第六百七十條 傳染病檢按等ニ據リ縣立病院ニ囑托シテ職員ノ出張ヲ要スル旅費

支辨方

○明治十九年八月二十三日滋賀縣令乙第拾八號(郡役所月長役場警察署へ)

(本文ハ第四百四十五條ニ出)

第六百七十一條 滋賀縣立大津病院診療概則

○明治二十一年三月六日滋賀縣令第五十三號(公報三月七日)

明治十八年^三本縣甲第三十七號布達縣立大津病院診療概則中左ノ通改正削除シ來ル四月一日ヨリ施行ス(二十二年四月二十五日滋賀縣令第六十九號ヲ以テ全(部改正スト雖モ參看ノ爲メ編入ス其縣令ハ後ニ出)

十八年本縣甲第三十七號ハ第三編第二百二十九丁ニ出

第二章第十四條改正

入院料ハ患者管内外ノ別ナシ一日分左ニ掲ケタル割合ニヨリ毎月十日二十日三十日ヲ以テ事務掛ヘ支拂フヘシ尤藥價及滋養物ノ價ハ別段支拂フニ及ハス但等外ノ入院料ヲ以テ入院ヲ許可スルモノハ第十六條ニ掲ケタルモノニ限ル

一 等	五 拾 錢
二 等	三 拾 五 錢
三 等	二 拾 五 錢
等 外	九 錢

全章第十七條及書式第三號削除

概則中ニ書記局トアルヲ總テ事務掛ト改ム

○明治二十二年四月二十五日滋賀縣令第六十九號(公報四月二十五日)

明治十八年三月甲第三十七號布達縣立大津病院診療概則左ノ通改正來ル五月一日ニ施行ス

滋賀縣々立大津病院診療概則

第一章 患者診療手續

第一條 凡外來ノ患者診療ヲ請フトキハ先ツ受付所ニ至リ取次者ヘ其住所氏名稱業年齡等ヲ申述ヘ診察番號札ヲ受取リ患者溜川ニ於テ診察ノ順番ヲ待ツヘシ

但患者疾病ノ摸樣ニヨリ順番ヲ待ツ能ハサルモノハ取次者ヘ委細其旨ヲ申述フヘシ然ルトキハ時宜ニヨリ順番ニ拘ハラズ診察スルコトアルヘシ

第二條 患者診察ヲ受ルノ後姓名牌及處方箋ヲ受取リ其服量用法攝生法等ヲ詳細ニ承知シ而シテ其處方箋ヲ事務局ニ持參シ藥價ヲ仕拂ヒ藥局ニ至リテ藥ヲ受クヘシ

第三條 患者再度以上來院ノトキハ初診ノ時受置タル姓名牌ヲ持參シ受付所ヘ着

出シ診察順番ヲ待ツコト第一條ノ如クスヘシ

但藥ヲ請フ者ハ亦必ス姓名牌ヲ持參シ直ニ醫局ニ至リ處方箋ヲ受取リ之ヲ事務局ニ持參シ藥價ヲ仕拂ヒ藥局ニ至リ藥ヲ受クヘシ

第四條 診察及ヒ調劑時限ハ午前第九時ヨリ午後第二時迄暑中ハ午前第七時ヨリ正午十二時迄トス

但大患急病等ハ此限ニ非ス

第五條 年中休暇日ヲ定ムルコト左ノ如シ

日曜日	午后
土曜日	午後
年始	一月一日ヨリ同三日迄
孝明天皇祭	一月三十日
紀元節	二月十一日
春季皇靈祭	春分日

神武天皇祭 四月三日

秋季皇靈祭 秋分日

神嘗祭 十月十七日

天長節 十一月三日

新嘗祭 十一月二十三日

歳末 十二月二十九日ヨリ同三十一日マテ

臨時ノ休暇ハ其時々受付所へ揭示スヘシ尤休暇日ヲリトモ醫員ハ必ス在院スルヲ以テ急病或ハ大患アルトキハ申出ヘシ

第六條 大患又ハ急病ニシテ來院スルコト能ハサル者ハ受付所取次者ニ其住所氏名職業年齢等ヲ申述ヘ往診ヲ請フヘシ

第七條 往診ヲ請フモノハ左ノ往診料ヲ納ムヘシ
但管外居住ノ者ハ往セシ診者へ直ニニ實費ヲ仕拂フヘシ

管	里	程	院	長	里	程	醫	員
---	---	---	---	---	---	---	---	---

内	一里未滿	〇	二里未滿	〇
	一里以上 五里未滿	金壹圓	二里以上 五里未滿	金五拾錢
	五里以上	五里毎ニ金 五拾錢ヲ増ス	五里以上	五里毎ニ金貳 拾五錢ヲ増ス

第八條 藥價及手術料ヲ定ムルコト左ノ如シ

但特ニ貴價ノ藥品ヲ配合スルモノハ其原價ニ由リ相當ノ代價ヲ拂ハシムルコトアルヘシ

内服藥

一水藥 一日量 一方ニ付 金四錢

一散藥 一日量 一方ニ付 金四錢

一丸藥 一日量 一方ニ付 金四錢

一頓服藥 一回量 一方ニ付 金貳錢

以上十歳未滿ノ者ハ水藥散藥丸藥ハ一日量金三錢頓服藥ハ半價トス

外用藥

一含嗽藥	一日量	一方二付	金三錢
但十歲未滿ノ者ハ一日量金貳錢トス			
一眼藥	一劑分	点眼藥 一五、〇〇 洗眼藥 三〇、〇〇 点眼膏 二〇、〇〇	金五錢
一耳藥	一劑分	(一五、〇)	金五錢
一塗布藥	一劑分	(一五、〇)	金五錢
一撒布藥	一劑分	(四、〇)	金五錢
一洗腸藥	一劑分	(一〇〇、〇及七)	金五錢
一疋布	一劑分	(二〇〇、〇)	金五錢
一洗滌藥	一劑分	(三〇〇、〇)	金五錢
一膏藥	一劑分 半劑分	(一五、〇大貝) (八、〇小貝)	金三錢 金貳錢
一浴藥	一日量		金三錢
一吸入藥	一劑分	(一五〇、〇)	金三錢
一坐藥	一個		金壹錢

一點眼料	一回	金壹錢
一塗布料	一回	金壹錢
一乾角料	一回	金貳錢
一洗滌料	一回	金貳錢
一開達料	一回	金貳錢
一藥液吸入料	一回	金三錢
一接電料	一回	金三錢
一皮下注射料	一回	金三錢
一洗腸料	一回	金五錢
一通浴料	一日	金五錢
一拔齒料	一回	金五錢
一アブーシ一及ヒカテーテル料	一回	金貳錢
手術料		

一手術料

金五錢ヨリ金五圓マテ

第九條 前條ノ外治療用品ノ價ハ其都度之ヲ示スヘシ

第十條 管内居住ノ患者貧困ニシテ藥價治療費及往診料ヲ支拂フコト能ハサルモノ來院シテ診療ヲ乞ヒ又ハ大患コレテ來院スルコト能ハス往診ヲ乞フモノ等書式第壹號ニ照準セル願書ヲ差出ストキハ詮議ノ上無料コテ施療若クハ往診スルコトアルヘシ

第二章 患者入院手續

第十一條 患者入院セント欲スルトキハ院長若クハ醫員ノ許可ヲ受ケ其差圖ニ從フヘシ

第十二條 入院患者ハ管内居住ノ者ニシテ身元儲カナルモノ貳人以上ヲ引受人ニ立タシメ書式第二號ニ照準シタル証書ヲ引受人ヨリ差出サシムヘシ
但急病又ハ大患等ニシテ急ニ入院ヲ要スルモノハ先ツ入院シテ然ル后該証書ヲ差出スルモ亦妨ナシ

第十三條 入院料ハ一日分左ニ掲ケタル割合ニユリ毎月十日二十日三十日ヲ以テ事務局ヘ支拂フヘシ尤藥價及滋養物ノ價ハ入院料ノ外ニ納ムヘシ
但等外ノ入院ヲ許可スヘキモノハ第十五條ニ掲ケルモノニ限ル

- 一 等 金貳拾八錢
- 二 等 金貳拾三錢
- 三 等 金拾八錢
- 等 外 金九錢

第十四條 看病人ハ院中ニ備ヘアレトモ別ニ附切ノ者ヲ要スル時ハ之ヲ召連ル、モ妨ナシ

第十五條 管内居住ノ患者貧困ニシテ相當ノ入院料及藥價治療諸費等ヲ支拂フ事能ハサルモノ書式第二號ニ照準セル願書ヲ差出ストキハ詮議ノ上許可スルコトアルヘシ
書式

第壹號

施療(來診)願 用紙半紙正副二通

何郡何町(村)字何町(村)何番屋敷住平民(士族)

何某父(或ハ何)

職業 氏 名

年齡何年何ヶ月

右ハ何月何日頃ヨリ病氣ニ相罹候處身元貧困ニシテ醫療差加ヘ難ク(且大患ニシテ出頭難相成)候ニ付無料ニテ(御來診ノ上)御施療被成下度此段奉願候也

右戸主(患者)戸主ナラハ右本人ト記スヘシ

年 號 月 日 氏 名 印

滋賀縣

縣立大津病院

御中

前書出願之趣取調候處全ク貧困ノ者ニ相違無之ニ付與書致候也

第二號

等外人院 用紙半紙正副二通

何郡何町(村)字何町(村)何番屋敷住平民(士族)

何某父(或ハ何)

職業 氏 名

年齡何年何ヶ月

右ハ何月何日頃ヨリ病氣ニ相罹候處身元貧困ニシテ醫療差加ヘ難ク候ニ付等外人院料ヲ以テ入院御許可之上藥價及治療諸費等無料ニテ御施療被成下度此段奉願候也

右戸主(患者)戸主ナラハ右本人ト記スヘシ

年 號 月 日 氏 名 印

衛生

滋賀縣

縣立大津病院

御中

前書出願之返取調候處全ク貧困ノ者ニ相違無之ニ付與書致候也

町村長 氏 名 印

第三號

入院患者引受証書

用紙半紙一通但成規ノ
通印紙ヲ貼用スヘシ

何那何町(村)字何町(村)何番屋敷住平民(士族)

何某父(或ハ何)

職業 氏 名

年齡何年何ヶ月

右之者今般貴院ニ於テ入院治療相受候ニ付テハ本人身上ノ義ニ付テハ拙者ニ於テ
悉皆引受聊モ御迷惑相掛申間敷依テ引受証如此候也

年 號 月 日

何那何町(村)字何町(村)何番屋敷

氏 名 印

何那何町(村)字何町(村)何番屋敷

氏 名 印

滋賀縣

縣立大津病院

御中

第六百七十二條 滋賀郡東浦村ニ建築セル傳染病避病院名稱

○明治二十年一月六日滋賀縣告示第一號(公報一月八日)

客年縣下滋賀郡東浦村ニ建築セル傳染病避病院ハ縣立大津避病院ト相稱ス

第六百七十三條 阪田郡長濱ニ傳染病避病院建設并名稱

○明治二十年八月廿六日滋賀縣告示第九十號(公報八月二十七日)

縣下阪田郡長濱北船町字本丸ニ傳染病避病院ヲ建設シ縣立長濱避病院ト相稱ス

第六百七十四條 郡町村公立病院患者表様式并進達期限

○明治二十二年四月十二日滋賀縣令第六十四號(公報四月十三日)

郡町村公立病院患者表様式左ノ通相定候條毎半分右ニ照準調製シ翌年一月二十日限り縣廳ニ差出シ

(用紙美濃紙)

患者表

明治何年 自何月 至何月

公立何病院

病類	五年未滿		十年未滿		十五年未滿		二十年未滿		以上未滿		合計	入院外來 別 入院外來	死亡 入院患者
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
傳染性病													
發育及營養的病													
皮膚及筋病													
骨及關節病													

合計	血行器病		神經系及五官病		呼吸器病		消化器病		泌尿及生殖器病		外襲性諸症		中毒症	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女

右及報告候也

年號 月 日

知事氏名殿

解釋

滋賀縣河郡長(又ハ何郡何村)氏 名印

一前年ニ報告ミタル患者ハ翌年ノ報告ニハ之ヲ省キ其年中新ニ診療ヲナシタル者
ノミヲ掲シヘシ
一入院外來ノ別ノ欄ニハ合計ニ就キ其男女ヲ區別シテ記入スヘシ

○第二款 驅癩院并檢癩

第六百七十五條 滋賀縣驅癩院職制

○明治二十二年四月廿三日滋賀縣達第百九號郡役所町村役場
立學校縣立病院へ

(本文ハ第五
十一條ニ出)

第六百七十六條 娼妓癩毒檢査規則中削除

○明治二十二年四月一日滋賀縣令第五十四號(公報四月一日)其座敷所在町村役場
其座敷營業取締へ
明治十八年丙第五十九號達娼妓癩毒檢査規則第十八條ノ但書削除ス

十八年丙第五
十九號達ハ第
四編第二百三
十四條(下卷
四十八丁)ニ
出

十八年本縣甲
第三十一號布
達ハ第四編第
二卷五十八條
丁ニ出
醫師免許規則
ハ十六年十月
二十三日太政
官第三十五號
布告ニシテ滋
賀縣ノ布令ニ
非ス故ニ登載
セス

○第三款

醫師藥舖產婆及按摩本編更ニ前編ノ第三款ヲ廢シ第四款ノ第三款トナス

第六百七十七條

醫師開業心得及醫師免許規則ニ係ル願届書ハ醫師組合長ノ連署ヲ要スヘキ事

○明治二十年十二月十六日滋賀縣令第二百三十五號(公報十二月十七日)

明治十八年三月本縣甲第三十一號布達醫師開業心得第一條乃至第七條及醫師免許規則第八條第十條ニ係ル願届書ニハ開業地又ハ出張所所在地開業醫師組合長ノ連署ヲ要スヘシ

但開業醫師組合規則第七條ニ據リ組合醫師氏名住所等ノ異動届ノ義ハ自今組合長ヨリ別段届出ニ及ハサル義ト相心得ヘシ(開業醫師組合規則ハ第六百八十條ニ出)

第六百七十八條

醫師ハ種痘施術苦シカラサル事

○明治十九年四月六日滋賀縣甲第五十六號布達(四月十日發布)

醫師ハ齒料及整骨料ヲ除クノ外一般種痘施術不苦儀ニ候條從來種痘免狀ヲ所持スル者ハ來ル六月三十日迄ニ郡役所ヲ經テ照應ニ返納スヘシ

右布達ス

第六百七十九條

醫籍刊行ニ付醫師ノ住所其他届出ノ事

○明治二十二年一月十一日滋賀縣令第二號(公報一月十二日)

今般内務省衛生局ニ於テ醫籍刊行可相成旨ヲ以テ醫師ノ現住所届出方其籍ヨリ照會有之候付テハ照下ニ於テ醫術開業免狀ヲ有スル醫師ハ總テ現住所及免狀番號ヲ記シタル届書ヲ本月三十一日限リ内務省衛生局ヘ直ニ差出スヘシ尤モ該届書ハ郵便端書ヲ用ヒ差支ナシ

但本文届出後住所轉シタルキハ其都度本文同様届出ヘシ

第六百八十條

開業醫師組合規則

○明治二十年八月九日滋賀縣令第六十六號(公報八月十日)

開業醫師組合規則左ノ通相定ム

○開業醫師組合規則

衛生

第一條 此規則ハ開業醫師組合規約ヲ定メ業務上左ノ目的ヲ達セシメカ爲メ之ヲ設

ルモノトス

一 醫風ノ改良ヲ計ル事

一 醫事ニ關スル法令等履行ノ順序ヲ定ル事

一 傳染病豫防及其治療ニ關スル事項ヲ講究スル事

一 管内地方病ノ種類及其因由ヲ探究スル事

一 衛生上除害改良ノ方法ヲ講究スル事

第二條 組合ノ區畫ハ一郡役所々轄部内若クハ一郡又ハ一郡内ヲ分チ便宜之ヲ定メ郡長ノ認可ヲ受クヘシ

第三條 管内ニ於テ開業スル醫師ハ本籍寄留ヲ問ハズ總テ此組合ニ加入スヘシ

但出張所等ヲ設ケテ開業スル者モ他管ノ者ハ其地ノ組合ニ加入スヘシ

第四條 每組合ニ組合長一名組合副長一名乃至二名幹事五名以下投票ヲ以テ之ヲ定ムヘシ其任期ハ各滿一年トス

二十年十月二十五日滋賀縣令第二八號ヲ以テ第三條但書中削除ス其縣令ハ後ニ出

但前任ノ者ヲ再撰スルコトヲ得

第五條 組合長ハ組合ノ管理ヲ爲シ組合副長ハ組合長ヲ輔ケ組合長差支アルトキ

ハ之カ代理ヲナシ幹事ハ組合ニ關スル庶務ヲ幹旋スルモノトス

第六條 組合長ハ組合醫師ノ名簿ヲ作り其本貫族籍住所年輪及免狀ノ種類免許ノ

科目等ヲ記シ改氏名轉住死亡又ハ醫事ニ關スル犯罪醫業停禁等ノ節其旨ヲ記入

スヘシ

第七條 組合ノ區域及組合長組合副長幹事組合醫師等ノ住所氏名并ニ集會ノ場所

期日等ハ郡役所ヲ經テ縣廳ニ届出ヘシ

第八條 組合醫師ハ毎年四回以上集會ヲ爲シ第一條各項ニ關スル事件ヲ議スルモ

ノトス

第九條 組合規約及組合議事細則ヲ議定シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十條 集會議決ノ條件并ニ出會ノ節出頭ノ人名等其都度郡役所ヲ經テ縣廳ニ開

申スヘシ

二十二年四月九日滋賀縣令第五十八號ヲ以テ第八條中改正其縣令ハ後ニ出

第十一條 知事又ハ郡長ヨリ諮問ヲ受ケタル事項アルトキハ集會審議ノ上意見ヲ開陳スヘシ

第十二條 組合醫師ニ於テ衛生上ニ關スル事件ニ付意見アルトキハ集會ノ議ニ付シ該會ノ所見トシテ知事又ハ郡長ニ建議スルコトヲ得

第十三條 組合醫師ハ其組合中ニ醫師免許規則第十一條ニ該當スヘキ者アルヲ發見シタルトキハ之ヲ會長ニ報告シ會長ハ之ヲ知事ニ開申スヘシ

第十四條 組合ニ關スル事件ニ付縣廳又ハ郡役所等ニ差出ヌ書面ハ總テ組合長ノ名ヲ以テスヘシ

第十五條 集會會場中當該吏員ヲシテ臨場セシムルコトアルヘシ
第十六條 組合ニ關スル費用ハ其組合醫師ニ於テ支辨スヘシ

○明治二十二年四月九日滋賀縣令第五十八號(公報四月十日)
明治二十年八月縣令第六十六號開業醫師組合規則第八條中毎年ノ下「四回以上」トアルヲ「二回以上」ト改正ス

醫師免許規則
八十六年十月
二十三日大政
官第三十五號
布告ニシテ滋
賀縣ノ布令ニ
非ス故ニ登載
セス

二十年縣令第
百六十六號ハ
前二出

本年縣令第百
六十六號ハ前
二出

○明治二十年十月二十五日滋賀縣令第二百八號(公報十月二十六日)
本年八月縣令第六十六號開業醫師組合規則第三條但書中他管ノ者ハノ五字ヲ削除ス

第六百八十一條 府縣立醫學校生徒ニシテ所轄地方廳ノ證明書アルモノハ直ニ後期試驗ヲ受ケ苦シカラサル事

○明治二十一年八月二十八日滋賀縣告示第四十八號(公報八月二十九日)
明治十六年一月內務省乙第四十六號達ニ據リ特許ヲ得タル府縣立醫學校生徒ニシテ本年同省告示第五號ニ相當スル者ニシテ元該校所轄地方廳ノ證明書アルモノハ今後醫術開業試驗ニ直ニ後期試驗ヲ受ケ苦シカラサル旨其筋ヨリ通牒アリ
但出願ノ手續ハ一般試驗願ノ例ニ據ルヘキハ勿論トス

第六百八十二條 入齒々抜口中療治接骨營業取締規則中改正及其他規則中改正刪除
○明治二十年二月二十四日滋賀縣令第八十一號(公報二月二十六日)
明治十三年本縣甲第百十八號布達牛乳搾取并請賣營業規則明治十四年本縣甲第百

十三年甲第百
十八號ハ初編

入齒々抜口中療治接骨營業取締規則

第九條 云々ヲ左ノ如ク改ム

無鑑札ニテ營業シ又ハ此規則第四條第五條第六條第七條ニ違背シタルモノハ刑
法第四百二十六條ノ刑ニ處スルノ外行政ノ處分ヲ以テ營業ヲ停止シ又ハ禁止ス
ルコトアルヘシ

第六百八十三條 從來入齒ノ業ヲ營ミタル者鑑札下渡ノ事

（參）明治十九年二月五日滋賀縣甲第七號布達

明治十八年^{十二}月^{十二}日 本縣甲第七十一號ヲ以テ入齒齒抜口中療治接骨營業取締規則布
達候ニ付テハ明治十八年十二月廿一日以前本縣下ニ居住又ハ寄留シテ從來入齒ノ
業ヲ營ミタル者ハ此際鑑札可下渡候條來ル三月三十一日迄ニ際應ヘ可願出此旨布
達候事

但本文日限キ過去リ願出ル者ハ一切差許サ、ルヘシ

第六百八十四條 入齒若クハ齒抜營業鑑札所持ノ者互ニ兼業スルヲ得ルノ事

此布達ハ永式ニ非スト雖モ參君ノ爲メ編入ス
十八年本縣甲第七十一號布達ハ第四編第二百四十一條（下卷六十六丁）ニ出

鍼灸術並按摩營業取締規則ハ第四編第二百四十一條（下卷六十六丁）ニ出

十八年本縣甲第七十一號布達ハ第四編第二百四十一條（下卷六十六丁）ニ出

○明治十九年十一月十一日滋賀縣令甲第二十九號（公報十一月十三日）

入齒若クハ齒抜營業鑑札所持スルモノ互ニ其業ヲ兼ルヲ得

第六百八十五條 鍼灸術并按摩營業取締規則中改正追加

○明治二十年二月二十四日滋賀縣令第八拾壹號ノ内（全文ハ第六百八拾貳條ニ出）

鍼灸術並按摩營業取締規則

第十條 「無鑑札ニテ營業シ又ハ此規則」ノ下左ノ如ク改ム

第五條第六條第七條第八條ニ違背シタルモノハ刑法第四百二十六條ノ刑ニ處ス
ルノ外行政ノ處分ヲ以テ營業ヲ停止シ又ハ禁止スルコトアルヘシ

○明治二十年八月九日滋賀縣令第六十九號（公報八月十日）

明治十八年^{十二}月^{十二}日 本縣甲第八十號布達鍼灸術並按摩營業取締規則第一條中師家ノ
證書ノ下「又ハ最寄ノ醫師二名以上連署、保證書」ノ十七字ヲ挿入シ第一號書式ハ
師家ノ證書并醫師ノ保證書式ヲ左ノ通追加ス

(師家ノ證書式)

證書

(用紙半紙)

住所族籍

氏名

右ノ者何年何月ヨリ何年何月マテ都合何年何ヶ月間鍼術(灸術)修習候處實地
習熟候ニ付自今獨立施術差支無之此段證明致候也

住所族籍

師氏名印

年號月日

(醫師ノ證書式)

保證書

(用紙半紙)

住所族籍

氏名

右ノ者鍼術(灸術)營業出願ノ趣御許可相成可然者ト看認候ニ付此段保證致候

也

住所族籍

醫師氏名印

年號月日

全上

全上氏名印

第六百八十六條 灸治營業者ニ於テ墨灸藥灸水灸漆灸等ニ要スル方劑中海劇藥ヲ
配伍スルモノハ使用禁止等ノ事

○明治十九年八月七日滋賀縣令甲第九號(公報八月十一日)

灸治營業者ニ於テ墨灸藥灸水灸漆灸ト稱スル類ニ要スル方劑中明治十三年太政官

第一號布告藥品取扱規則第二類第三類ニ掲ケタル毒藥劇藥ヲ配伍スルモノハ之ヲ

使用スルコトヲ禁ス違フ者ハ違警罪ノ處分ニ付セラレヘシ

第六百八十七條 醫師免許手数料徴收方

(參)明治十九年六月八日滋賀縣會計課會坤第六九七號照會甲賀郡役所へ

二十二年三月十五日法律第
品號ヲ以テ藥
品營業并藥
取扱規則ヲ定
メ藥品取扱規
則ヲ共ニ規定
シ非スルニ付
登載セス

(本文ハ第三百五十條ニ出)

第六百八十八條 藥舖藥種商營業規則中改正加除

○明治二十年二月二十四日滋賀縣令第八拾壹號ノ内(全文ハ第六百八十二條ニ出)

藥舖藥種商營業規則

第二十五條刪除ス

(二十二年三月十五日法律第十號藥品營業并藥品取扱規則ニ依テ二十三年三月一日ヨリ全部消滅ス)

○明治二十一年三月二十七日滋賀縣令第七十號(公報三月二十八日)

明治十八年三月本縣甲第三十二號布達藥舖藥種商營業規則第四條中第二項左ノ通改正ス

○ 第二 試驗問題ハ一科二題トシ答記時間ハ一題一時間ヲ超エルヲ許サス

(二十二年三月十五日法律第十號藥品營業并藥品取扱規則ニ依テ二十三年三月一日ヨリ全部消滅ス)

○明治二十一年十二月十四日滋賀縣令第七十一號(公報十二月十五日)

十八年本縣甲第三十二號布達藥舖藥種商營業規則第四條中第二項左ノ通改正ス

十八年甲第三十二號布達藥舖藥種商營業規則第四條中第二項左ノ通改正ス

第五條(下卷七十五丁)ニ出
二十二年三月十五日法律第十號藥品營業并藥品取扱規則ニ依テ二十三年三月一日ヨリ全部消滅ス

永式ニ非スト
參看ノタメ編入ス
十八年甲第三十二號布達藥舖藥種商營業規則第四條中第二項左ノ通改正ス

明治十八年甲第三十二號布達藥舖藥種商營業規則中左ノ通加除更正ス

但明治二十二年一月一日ヨリ施行ス

第六條 「又ハ通勤」ノ四字削除

第十三條 郡役所ノ下「ニ」ヲ削リ「ヲ」ヲ經テ當廳ヘ」ノ六字ヲ挿入

第六百八十九條 從前滋賀縣免許ノ藥舖營業差停ノ事

○明治二十一年十二月十四日滋賀縣令第七十三號(公報十二月十五日)

明治十八年甲第三十四號布達ニ據リ從前本縣免許ノ藥舖ハ本月三十一日限、營業相成ラス候付テハ從來所持ノ免許鑑札ハ明治二十二年一月十日迄、所管郡役所ヲ經テ縣廳ヘ返納スヘシ

第六百九十條 內務省免狀ヲ有セスシテ藥舖營業ヲ爲セントスルモノハ免狀ヲ有

スル調劑藥品取扱人ヲ要スル等ノ事

○明治二十一年十二月十四日滋賀縣令第七十二號(公報十二月十五日)

内務省免狀ヲ有セサル者ニシテ明治二十二年一月以降縣下ニ於テ藥舖營業ヲ爲サ
ント欲スルモノハ別ニ該免狀ヲ有シ其店舖ニ居住シ得ヘキ者ナシテ調劑其他藥品
取扱ノ事ヲ擔當セシムルニ於テハ當分營業ヲ許スヘシ依テ擔當人ノ履歷書及免狀
寫相添擔當人選署ノ上所管郡役所ヲ經テ縣廳ヘ願出ヘシ

但他ニ支店ヲ設ケントスルトキモ本文ニ準シ願出ヘシ尤モ本文允許ノ藥舖ハ明

治十八年甲第三十二號布達藥舖藥種商營業規則ヲ遵守スヘキハ勿論ナルヘシ

第六百九十一條 藥舖藥種商監查官吏點檢ノ節心得方

○明治廿年五月二十六日滋賀縣令第三百三十三號(公報五月廿八日)

藥舖藥種商監查トシテ主務官吏臨時點檢ノ節該營業者ハ左ノ條項ニ據リ點檢ヲ受
クヘシ

第一條 各營業者ハ左ノ各項其他臨時主務官吏ノ指示ニ應シ點檢ヲ受クヘシ
一年狀若クハ免許鑑札

一 第一類第二類第三類ノ各藥品買入帳

一 醫師藥舖化學者製藥者工職者等ノ証書及處方書

一 藥品現品

一 藥品ノ倉庫及藥品ヲ貯藏スル場所

第二條 各營業者ハ左ノ各項ヲ遵守スヘシ

一 第一類第二類第三類ノ各藥品買入帳ヲ製スヘシ

但各買入帳ノ初メニ本年六月一日現在所持ノ藥品名數量等ヲ詳細ニ記載シ爾
後買入タル都度其品名數量ヲ記載スヘシ

一 第一類第二類第三類ノ藥品ハ其容器(箱詰越包等)者ハ其外圍(日本邦普通ノ
名稱)或ハ假名コテ原名)ヲ記シタル名標ヲ貼付スヘシ

一 第一類中ノ粗製品及敗品ニ屬シタル藥品ハ之ヲ類別シ置キ他ノ藥品ト混同ス
ヘカラス

第六百九十二條

産製ノ業ヲ營ム者ハ産製講習會ノ習熟證書ヲ要スルノ事